

一般情報教育に関するアンケート

2005年1月

全学共通教育システム委員会情報教育専門委員会

学術情報メディアセンター

目 次

はじめに	1
一般情報教育に関するアンケート報告書 - 第 1 部	2
アンケートの概要	2
回答者データ	3
現在の情報教育に対する評価	4
コンピュータの利用状況，利用経験	14
情報関連の技能・知識について	27
まとめ	31
一般情報教育に関するアンケート報告書 - 第 2 部	34
アンケートの概要	34
アンケート結果	36
教育用計算機システムのサービス利用状況	36
電子メールサービスの利用状況	36
OSL やサテライトの利用状況	37
本システムへの要望又は意見	39
寄せられた自由記述意見	40
一般情報教育に関するアンケート（調査票）	46
情報教育専門委員会名簿	58

はじめに

近年の「秒進分歩」と形容されるほどの急速な情報技術の発展にともない、現在の我々はインターネットを代表とする新たなメディアを経由して、かつてないほど大量かつ急速に押し寄せる多様な情報の洪水のただなかに身を置いている。その中で、我々一人一人は、もはや単なる情報の受け手ではなく、自らも情報の送り手として社会に大きな影響を与えている存在となっている。このような情報化社会においては、情報を適切に活用することで、あらゆる分野において、個々人が大きく力を発揮できる可能性がある。同時にその一方で、情報の取り扱いを一步誤れば、それが深刻な問題を引き起こす危険性も十分に考えられる。このような社会のもとでは、情報技術をうまく活用し、大量の情報から有益な情報を見つけ出す、得られた情報を吟味して的確な判断を下す、または適切に情報を送り出すなど、情報を主体的に取り扱うための素養を着実に身につけておくことが重要である。またそれと同時に情報を適正に利用する倫理観をもつことも不可欠である。このようなことから、情報教育は今後の社会を構築していく役割を担う学生にとって、ますます重要なものとなっていくことには疑いの余地がない。実際、高等学校では、平成15年度から教科「情報」が必修となっており、平成18年度からは「情報」を修得した学生が本学に入学することになる。

高等学校での「情報」の必修化と時を同じくして、平成15年度に設立された情報教育専門委員会は、本学での情報教育、とくに全学共通教育における一般情報教育に関して、カリキュラムの改善、教育体制の充実化、評価の実施等、情報教育の在り方を検討することを責務としている。なかでも平成18年度以降の新入生を対象とすることを見据えた一般情報教育の改革は重要な任務であり、かつ急務である。

従来、大学での一般情報教育は、ともすればいわゆるコンピュータリテラシーにとどまりがちであった。もちろんコンピュータの扱いは情報教育の中核をなす要素であり、これまでの小学校、中学校、高等学校の教育環境を鑑みれば、実際に初歩からのコンピュータリテラシー教育は大学で必要とされてきたものであった。しかし現在、教育現場あるいは家庭をとりまく状況は大きく変わりつつあり、大学での基礎からのコンピュータリテラシー教育の必要性はかなり薄れてきているのが事実であろう。今後は、理系・文系を問わず、企業活動や研究活動などで必要とされる情報の収集、分析、伝達、創造などを含む総合的な情報活用力、およびその力を適切に発揮するために欠かすことのできない高度な倫理観を育成することが、大学での一般情報教育に求められるものと考えられる。なお、このような教育を本学で実現するカリキュラムを検討すると同時に、情報教育を支える重要な要素として、学術情報メディアセンターで運用しているような教育用コンピュータシステムを今後どのような形で提供するのかを考えていくことも重要な課題となる。

このような背景のもとで、本アンケートは、一般情報教育を改革するための第一歩として、一般情報教育および関連設備に対する現状評価、要望、および学生をとりまく情報化の現状を把握することを目的として、情報教育専門委員会と学術情報メディアセンターを中心として2部構成で作成された。アンケートの対象は、1・2年生とし、平成16年1月8日から2月5日にかけて実施した。アンケート用紙は語学のクラス授業を利用して配布した。アンケートは各自持ち帰って記入してもらった上で、共通教育教務掛の専用ポスト、あるいは学術情報メディアセンターの専用ポストに投函してもらった形で回収した。このような形式をとったことで、情報教育に対して積極的な姿勢をもった学生の回答のみが集まり、回答にバイアスがかかったという危険性も考えられる。しかし、肯定的な意見にせよ、否定的な意見にせよ、そのような学生がどのように考えているかを知ることが、十分に意義があると考えられる。

本アンケートの第1部は、本学の一般情報教育に対する評価と要望、および学生のコンピュータ利用経験等を調査し、新しい情報教育カリキュラムを作り上げるために資することを目論んだ。また第2部は、学術情報メディアセンターの教育用コンピュータシステムの利用状況やシステムに対する要望を把握し、システムのより効果的な運用の参考とすることを目的とした。

以下、本報告書では、第1部と第2部のそれぞれについて、アンケートの概要、各設問に対する回答の集計結果、その結果に関する所見などを示す。また全体を通して明らかになった現在の情報教育あるいは教育用コンピュータシステムに関する問題点、要望などについて総括して述べる。

一般情報教育に関するアンケート 報告書—第1部

アンケートの概要

本アンケートの第1部では、高等学校の情報教育カリキュラムが変わったことも踏まえ、本学の一般情報教育を改善するために、次のような内容について調査を行った。まず第一に「現在の情報関連の授業に対する評価」、第二に「コンピュータの利用実態、利用経験」、そして第三に「情報教育への要望」である。

授業評価の調査内容は次のようなものである。まず大きく講義科目と演習科目に分けて、それぞれに関して、これまでに受講した科目のうち主たる一つを想定してもらった上で、10程度の項目について5段階で評価をつけてもらった。また、授業で興味をもった内容について記述してもらった。これには、普段直接にはうかがい知る機会の少ない各授業の内容を聞き出したいという意図があった。

コンピュータの利用実態と利用経験については、まずコンピュータの利用目的と利用環境の調査を行った。さらに現在、社会で大きな問題となっている情報セキュリティに関連してウイルスとその対策に関する調査を行い、また情報セキュリティと情報倫理に関する教育を全学的に実施することに関する意見を書いてもらった。高等学校における情報に関連する教育についても回答を求めた。これらの調査を通じて、学生の情報化の現状、情報に関わる問題意識を把握することを目論んだ。

情報教育への要望は、さまざまな技能と知識について、その修得状況、学習状況を調査することで分析できると考えた。大学までで学んだこと、大学で学んだこと、これから学びたいことを調べることで、現在の情報教育と要望とのズレを浮き彫りにすることを狙った。

第1部は、以上のような内容をすべて盛り込んだことにより、かなりの分量の調査となってしまった。回答者の負担を考えれば、内容面で欲張りすぎたことは、反省すべき点である。数多くのアンケートが実施されている現状で、より幅広い意見を集めるためには、設問を精選すべきだったかもしれない。しかし、それにも関わらず800近い回答が寄せられ、そのうちの大多数が、ぶ厚いアンケートの最後まで回答してくれていた。これは率直に大変うれしいことであった。このことは、情報教育に対して、それだけ大きなものが求められていることの表れでもあろう。

実施および集計方法

すでに「はじめに」で述べた通り、本アンケートは、2004年1月8日から2004年2月5日にかけて実施された。語学のクラス授業を利用してアンケート用紙を配布し、専用ポストで回収した。回答を集計するにあたって、次のような調整を行った。まず、本来回答しなくてもよい設問を回答している場合は、その回答は排除した。また、単一選択回答の設問に複数選択している例がいくつか見受けられたが、この場合、そのうちの一つだけを恣意的に選ぶこともできなかったため、全ての回答をそのまま採用した。また最後の設問まで回答していない場合も回答してあるところまでを採用した。記述式設問の回答については、全回答を精読したのち、それらをいくつかのカテゴリに分類した。本報告書では、各カテゴリから代表的な回答を抽出して掲載した。

回答者データ

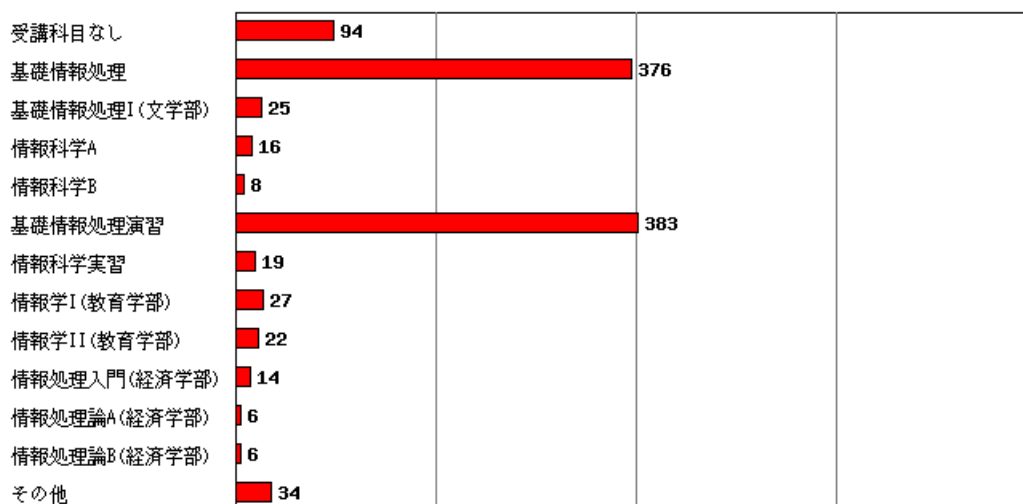
回答回収率					
学部	学部全体	男子	女子	2003年度	2002年度以前
総合人間	31/ 268(11.56%)	22/ 189(11.64%)	9/ 79(11.39%)	20/ 135(14.81%)	11/ 133(8.27%)
文	47/ 445(10.56%)	25/ 241(10.37%)	22/ 204(10.78%)	25/ 224(11.16%)	22/ 221(9.95%)
教育	27/ 129(20.93%)	5/ 56(8.92%)	21/ 73(28.76%)	11/ 62(17.74%)	16/ 67(23.88%)
法	108/ 744(14.51%)	70/ 528(13.25%)	38/ 216(17.59%)	72/ 365(19.72%)	36/ 379(9.49%)
経済	35/ 496(7.05%)	33/ 393(8.39%)	2/ 103(1.94%)	18/ 253(7.11%)	17/ 243(6.99%)
理	71/ 600(11.83%)	63/ 544(11.58%)	7/ 56(12.50%)	35/ 301(11.62%)	36/ 299(12.04%)
医	5/ 205(2.43%)	5/ 168(2.97%)	0/ 37(0.00%)	2/ 100(2.00%)	3/ 105(2.85%)
薬	15/ 175(8.57%)	10/ 109(9.17%)	5/ 66(7.57%)	4/ 84(4.76%)	11/ 91(12.08%)
工	300/1946(15.41%)	268/1803(14.86%)	29/ 143(20.27%)	180/ 982(18.32%)	118/ 964(12.24%)
農	110/ 624(17.62%)	66/ 425(15.52%)	44/ 199(22.11%)	75/ 315(23.80%)	35/ 309(11.32%)
全体	761/5632(13.51%)	567/4456(12.72%)	177/1176(15.05%)	443/2821(15.70%)	305/2811(10.85%)

学部別では、回答率が高かったのが、まず教育学部、ついで農学部であった。逆に回答率が低かったのは、医学部、経済学部、薬学部であった。このような差が現われた原因として、アンケートを配布した授業での出席率が影響した可能性が考えられる。なお男女別では、女子の方が回答率が高く、入学年度別では、2003年度入学者、すなわち1回生の回答率の方が、2002年度以前の入学者に較べて高かった。

現在の情報教育に対する評価

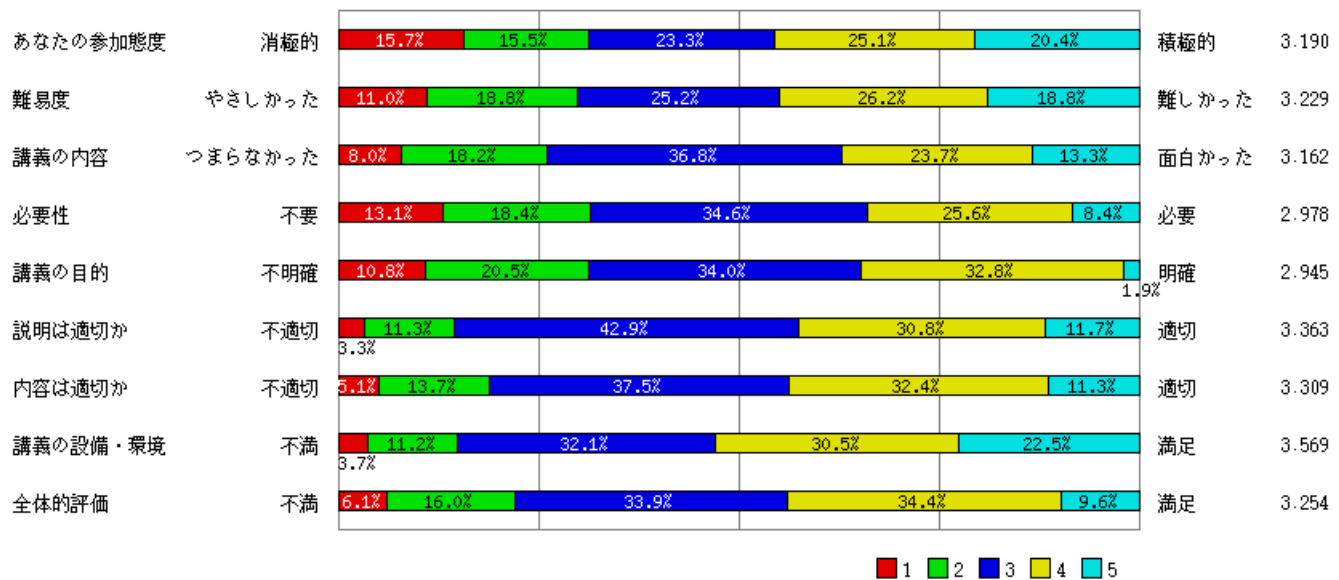
問 4 受講した科目は次のどれですか．あてはまる番号に をつけて下さい．(複数回答可)

1 科目以上受講した科目がある方は問 5 へ，そうでない方は問 8 へ進んで下さい．



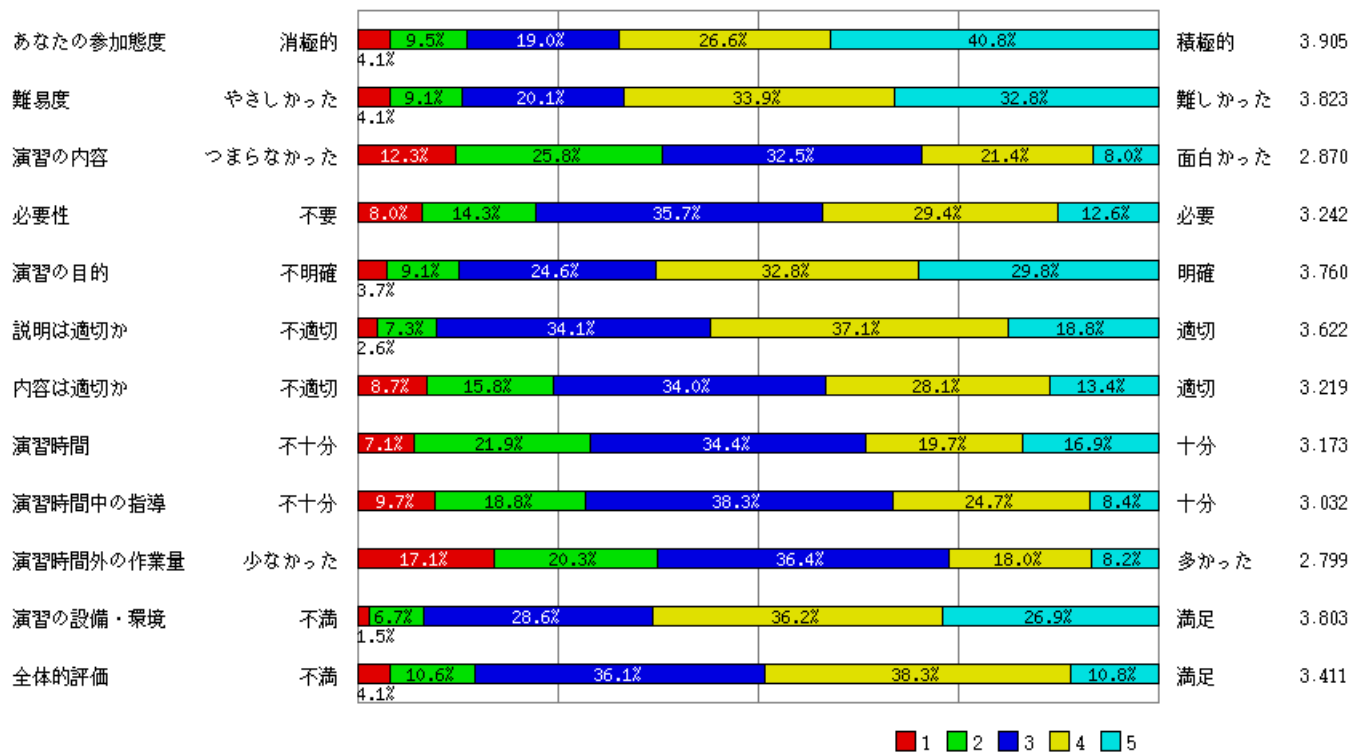
多くの学部に対応する形で多数開講されている基礎情報処理および同演習については，回答者の中での受講率が5割程度であった．その他の科目については，回答者数はかなり少なかった．なお学部科目については，対象学部に限定した場合，回答者の中での受講率は，おおよそ文学部では5割，教育学部では，10割，8割，経済学部では，4割，2割であった．

問5 講義についておたずねします。問4で をつけた科目のうち、おもに講義が行われた科目があれば、それらのうち主たる一つについて、以下の各項目を、それぞれ5段階で評価して、あてはまる番号に をつけて下さい。なお、該当する科目がなければ、「該当なし」にチェック(√)を入れて下さい。



図中の右端の数値は各項目の平均値である。全体評価を含めて、いずれの評価項目も5段階で平均値はおおよそ3.0であった。設備に関しては、若干高い評価となっている。

問6 演習についておたずねします。問4で をつけた科目のうち、演習が行われた科目があれば、それらのうち主たる一つについて、以下の各項目を、それぞれ5段階で評価して、あてはまる番号に をつけて下さい。なお、該当する科目がなければ、「該当なし」にチェック(√)を入れて下さい。



演習科目については、全体評価は講義科目に較べて平均的には高くなっている。ただし評価項目毎に見てみると、学生は積極的に参加しているとしているにも関わらず、演習内容は難しく、どちらかといえば、面白みに欠けるという結果が得られている。その一方で、演習時間、指導の評価は、平均的であり、演習時間外の作業負担はそれほど大きいものではないと評価されている。また設備についての評価は高い。

問7 これまでに受講した情報関連の講義・演習で、興味をもった、あるいは役に立った内容・課題等があれば、その内容を簡単に記述して下さい。

もっとも多く見られたのは、MS-Office あるいは Linux, \LaTeX の使い方などリテラシーに関連する回答であった。これは、演習科目でリテラシー修得が中心のテーマになっていることを反映した、ある意味当然の結果であろう。それ以外では、ネットワーク関連、プログラミング、計算機システムに関連する回答が挙げられていた。

また具体的な内容に言及していない回答として、内容が難しすぎる、あるいは逆に易しすぎるという両方の意見がおおよそ同じ割合で見られた。これは、学生の間に入學時までの「情報」の学習履歴、コンピュータの利用経験に大きな差が存在していることを意味しているものと思われる。

以下に代表的な回答を示す。回答は適宜カテゴリに分類した。各カテゴリの件数は、そのカテゴリに分類した回答数を示している。

代表的な回答

各回答には ([整理番号] 学部 学年 性別) を付した

MS Office — 70 件

- プレゼンテーション (自宅にパワーポイントがないので) ([148] 農 1 回生 男)
- ・パワーポイントの作り方, 使い方。これからの大学の授業で生かせそう。・コンピュータの基本操作。本当に初心者の私にとっては、何も分からなかったのので、基本の基本から教えてもらえて有り難かった。 ([202] 文 1 回生 女)
- エクセルの使い方の学習は、2 回生になってからレポートを作成する際にグラフを作ったり、データを整理したりする上で役立った。 ([353] 教育 2 回生 女)
- パワーポイントを使ったプレゼンテーションを初めてできて、これから先役立つと思った ([515] 農 1 回生 女)
- エクセルの使い方ぐらいかな…。 ([624] 文 2 回生 男)
- Word, Excel などの演習はこれから必須となるスキルだが、今まで触れたことがなかったので、とても意味あるものだったと思う。 ([711] 工 1 回生 男)

Linux, \LaTeX , Maple など — 53 件

- UNIX システムを用いた演習だったので、今計算機を使った実験で UNIX を主に用いるようになった時に基本的操作に関しては、問題なく扱えるようになった ([17] 工 2 回生 男)
- Linux 環境での作業及び TEX による文書作成は 2 回生になってからの専門で非常に役立ちました。ただ、授業はその取りかかりの部分として捉えています。(実用段階までは習得するのは無理ですし、その必要もないと考えます) ([40] 工 2 回生 男)
- UNIX, LaTeX 等の実習にはあまり関心がありませんでしたが、演習でやってみるとなかなか面白く、ためになりました。特に LaTeX の実習は、論文を書く上での必要性を認識するきっかけとなり、よかったです。 ([208] 理 2 回生 男)
- LATEX, HTML, GNUPLOT ([290] 工 1 回生 男)
- Maple の演習は役に立った様に思う。 ([325] 工 1 回生 男)
- 数学のグラフなどを描いたり、数値計算できるソフトを知れたことがよかった。 ([327] 工 1 回生 男)
- UNIX の使用を体験していたことが、専門科目のプログラミング演習に役立った ([507] 工 2 回生 女)

プログラミング — 20 件

- プログラムをうちこんで 3 次元のグラフをつくる ([196] 工 1 回生 女)
- 情報学科の者ですが、C 言語の知識が皆無だったので、1 回の前期に演習があってくれて助かった。 ([201] 工 1 回生 男)

- Fortran90 は役に立ちました。 ([337] 工 2 回生 男)
- C 言語のプログラミング ([483] 経済 1 回生 男)
- プログラムを作るのは、今はあまり実感はないが (化学系なので)、将来的にはきっと使うのだらうと思った。 ([646] 工 2 回生 男)
- Fortran77 プログラミング,MULE,MAPLE の数値計算,LATEX(数式を打つのに便利) ([718] 工 2 回生 男)

ネットワーク関連 — 32 件

- ネットワークと著作権に関する講義 ([363] 法 1 回生 男)
- インターネットセキュリティ・危険性について。インターネットの初歩的な原理 ([709] 理 1 回生 男)
- 役に立った：ワード・エクセルの使い方、ネチケットについて、インターネットウイルスの対処法 ([409] 教育 1 回生 女)
- 通信 (インターネット) について、特に TCP / IP に関して少し仕組みが分かった。フリップフロップなどが面白かった。 ([408] 工 1 回生 男)
- IP 関連の話。インターネットや HTML など。 ([602] 法 1 回生 女)
- 役に立ったのは、Eメールの使用方法 ([520] 法 1 回生 男)

計算機システム — 16 件

- コンピュータのどの部分がどのような働きをし、それによってどのように作業が行われるのかについて知り、コンピュータの仕組みについての理解が深まった ([187] 工 2 回生 男)
- コンピュータのハード面の構造について知ることができ、知的満足を得た。 ([394] 経済 1 回生 男)
- コンピュータは 0 と 1 の数字の列を読み取っているいろいろな通信やデータ処理をしているという基本的な動き方の仕組みがわかったので良かった ([171] 総合人間 2 回生 男)
- 前期に履修した演習では UNIX に触れることができ、後期に履修している講義では、ブラックボックスとされていたコンピュータの仕組みを、ほんのさわりの部分だけだが学ぶことができ、将来役に立つであろうと思う。 ([282] 工 1 回生 男)
- 今までコンピュータの仕組みについての知識がほぼなかったので、講義はとてもためになりました。 ([677] 総合人間 2 回生 女)

情報科学 — 8 件

- アルゴリズムを考えたりすること。 ([732] 理 1 回生 男)
- LU 分解 ([522] 理 2 回生 男)
- ルンゲクッタ法 ([496] 工 2 回生 男)
- 暗号鍵の仕組み ([517] 理 2 回生 男)
- 情報理論に興味を持てた。 ([708] 工 2 回生 男)

その他

- 基礎情報処理演習で、自分で考えた独自の図や絵をかくこと。先生に言われた通りに、みんなが同じ事をするよりずっとよかった。 ([318] 工 1 回生 女)
- 基礎情報処理ではコンピューターの歴史やその発展のような説明は面白かった。 ([435] 工 1 回生 男)
- 英語のインターネットを用いた課題。世界が広がった。 ([479] 経済 1 回生 男)
- TOEIC の勉強 ([670] 工 2 回生 男)
- 情報科学とそれ以外の学問分野のつながりを知ることはなかなか興味深かった ([499] 総合人間 1 回生 男)
- 全てにおいて役に立ちました ([177] 教育 2 回生 女)

- 全体的にまあまあよかった。 ([258] 理 1 回生 男)
- 書店にあるマニュアル内容 + 位のレベルが面白い。 ([241] 理 2 回生男)
- 基礎情報処理演習では、全くパソコンについて無知だったが、少しの操作くらいなら出来るようになったので役立ちました。でも、タイピングが遅かったので、よくついていけない事がありました。 ([470] 工 2 回生 男)
- パソコンスクールの様な丁寧な説明を期待したが、どんどん進まれてだんだん訳が分からなくなった。 ([467] 経済 1 回生 男)

なし — 48 件

- あるような、ないような。 ([291] 工 1 回生 男)
- なし。易し過ぎる。 ([240] 工 2 回生 男)
- 大学入学以前に持っていたレベルの知識を再確認した程度にすぎなかった ([12] 法 2 回生 男)
- 今のところ役には立っていません ([54] 工 2 回生 男)
- 役に立つわけがない ([129] 農 1 回生 男)

問 8 情報関連の授業で取りあげてほしい内容、あるいは大学で取得したい情報関連の資格、また授業形態、設備・環境への注文など、講義・演習に係る意見を自由に記述して下さい。

希望する授業内容としては、リテラシー (Windows, Unix), プログラミング, セキュリティが挙がっていた。基礎的なリテラシーに関しては、今後、初等中等教育で対応していくことになるが、大学での研究活動等を見据え、いかに情報を収集、整理、分析し、さらに伝達するかといった能力の育成は、大学での情報教育の一環として取り組んでいくことも必要であると考えられる。

情報関連の資格については、就職に利用できることから、関心が高いものと思われる。可能であれば、キャリアサポートセンターにもご協力を仰ぎつつ、現行のカリキュラムの枠組みの中で、資格取得をサポートする体制を作ることも検討したい。

内容以外の点については、まず授業を取りたくても取れないといった問題が挙がっていた。これには、演習科目での人数制限の問題、時間割編成の問題が含まれるものと思われる。また習熟度別の授業を提供してほしいという意見が目立った。演習時間が足りないという意見も見られた。習熟度の差の問題は、授業評価にも表われてきており、学生各個人が、それぞれに適した授業を選ぶことができているという現状が浮き彫りになっている。なお、授業の環境については、メディアセンターの設備拡充、利用時間の拡大を希望する意見が多く見られた。

以下に代表的な回答を示す。回答は適宜カテゴリに分類した。各カテゴリの件数は、そのカテゴリに分類した回答数を示している。

代表的な回答

各回答には ([整理番号] 学部 学年 性別) を付した

リテラシー — 51 件

- パソコンの基本的な操作について (単位が出なくてもよいから) ([254] 理 2 回生 女)
- 研究や就職のうえで、必要最低限程度の情報機器の使い方を取りあげてほしい ([111] 農 1 回生 男)
- 取り上げてほしい内容は、画像処理・プログラミング・データベース・表計算・スタイルシートなど (幾分、ソフトの使い方の講義的な性格ができてしまうかもしれないが、それはしょうがないことと思って気にしないのがよいと思う。) ([424] 理 1 回生 男)
- 教職をめざしていることもあり、実際のコンピュータ使用に使えるスキルを身につけたい。エクセル、パワーポイントなど。ホームページ作成 ([189] 経済 2 回生 女)
- HP の作成、スクリプトなどを使う。 ([317] 工 1 回生 男)
- SPSS, Adobe, CAD 関連 (それ以前にインストールしてほしい) ([733] 工 2 回生 男)
- UNIX の使い方をもう少し分かりやすく教えてほしい。 ([412] 工 2 回生 男)

- power point の使い方等プレゼンの演習がしたい ([511] 工 2 回生 男)
- mathematica の演習 ([429] 工 2 回生 男)
- Word, Excel などの基本ソフトが十分に使えるようになるくらいのカリキュラムを希望します。 ([335] 法 1 回生 男)
- もっとソフトの使い方を詳しく教えてほしい。その他は特にありません ([120] 農 1 回生 女)
- エクセルのもっと詳しい使い方やラテフの使い方を教えてほしい ([27] 文 2 回生 女)
- コンピュータでの統計処理 ([34] 教育 2 回生 不明)
- ワープロを速く打つ能力を身に付けたい。 ([465] 経済 1 回生 男)
- 理学部の「基礎情報処理」でも、他学部のように実用的な内容をやってほしい。 ([390] 理 2 回生 女)
- 理学部の情報処理であったため数値計算に関する授業、演習は UNIX の LATEX が主であった。が、もっと基礎の EXCEL、POWER POINTER などの授業もしてほしい。少なくとも、シラバスにはそういったつぎつめた内容までのせてほしい ([33] 理 2 回生 男)
- 自分の学科では LINUX の演習をしたのだが、もっと Windows の演習も取り入れてほしい。 ([644] 工 2 回生 男)
- IE 以外の選択肢の提示を授業でもやってほしい。 ([270] 農 1 回生 男)

プログラミング — 34 件

- C, Java, HTML 等の演習を豊富にしてほしい ([517] 理 2 回生 男)
- C 言語に興味があるのですが、情報学科の専門科目を受けないと授業は受けられないのかがわからないので心配です。工学部全体でも授業を組んで欲しいです。あと Fortran をメディアセンターで最初から使えるようにして欲しいです。 ([355] 工 1 回生 男)
- C 言語プログラミングを基礎から取り上げる内容の講義があると良いと思う。実際に UNIX などでプログラムを作成するなどの演習もあるとなお良いと思う。 ([279] 工 1 回生 男)
- もっと実用的な事を扱ってほしい。Java, C や CG など。 ([433] 理 1 回生 男)
- 初心者・文系でもやさしくできるプログラミング講座みたいなものがほしい ([83] 教育 1 回生 男)
- 理学部でプログラミング (C, Fortran など) の授業の時間をふやしてほしい。語学と重なると受講できない ([13] 理 2 回生 男)
- 全学共通の B 群での科目にプログラミングの授業を増やしてほしい。 ([680] 理 2 回生 男)

セキュリティ — 10 件

- インターネットについて、セキュリティ問題、ネットワークの実情 など ([268] 文 2 回生 女)
- ウイルス対策とか、セキュリティの問題も取りあげて欲しい ([512] 農 2 回生 男)
- プログラミング言語について。著作権などの情報的な倫理問題について。 ([618] 工 1 回生 男)
- 情報学科の講義にセキュリティに関連したものがないと思われる。技術者から一般人へとコンピュータが浸透している現在、人的要因によるセキュリティ不安について認識させる講義があってもいいと思う。資格に関しては特に必要ないと思う。取りたいと思ったら各々取ればよい。 ([17] 工 2 回生 男)
- 個人情報の保護の仕方 ([739] 法 2 回生 男)
- ホームページの作り方なども教えてほしい。それからセキュリティーについてもっと具体的、徹底的に指導した方がいい ([181] 教育 1 回生 女)

その他 (内容に関して)

- インターネットの普及に伴い、やはり教科書も新訂し、インターネット関連のことも教えてほしい。 ([282] 工 1 回生 男)

- IT用語の解説講義 ([206] 法 2 回生 男)
- コンピュータによる情報の収集は、情報の質について見分けることが難しいので、情報の質について判断する方法などを知りたい。 ([383] 農 1 回生 男)
- CAD とか CG の講義 (演習中心) をやって欲しい ([547] 工 1 回生 女)
- 自分の学部では、専門に進んだときに、どのように情報関連の技術が活用されているのかを知りたい ([527] 文 1 回生 女)
- オフィスソフトの使用法だけでなく、パソコンの構造などについても教えて欲しかった。 ([410] 教育 1 回生 女)
- 性能のいいコンピュータの自作法 ([532] 工 1 回生 男)
- ネットワーク管理 ([696] 工 1 回生 男)

資格 — 27 件

- そもそもどういう資格があり、どの講義によって資格受験に対する準備ができるのか示してほしい。 ([264] 工 1 回生 男)
- Microsoft 認定プロフェッショナルなどを取りたいので、ある程度専門的なシステムに関する講義をしてほしい。 ([237] 法 2 回生 男)
- システムアドミニストレーターの資格に関する講義があってもよいと思う。 ([477] 経済 2 回生 男)
- パソコン検定の資格が取れるよう、その対策に関連した講義・演習を行ってほしい。 ([703] 総合人間 1 回生 女)
- 学術的な勉強も大切かと思うが、もっと実用的な内容も取り上げてほしい。ソフトウェア開発技術者の資格を取得したい。 ([50] 工 2 回生 男)
- 基礎情報処理技術者や初級シスアドを取りたい。プログラミング言語を教えてほしい。 ([406] 工 1 回生 男)
- 基本情報 初級シスアド ([496] 工 2 回生 男)
- 初級シスアド、基礎情報処理技術 ([71] 工 1 回生 男)

具体的な授業への言及など

- 薬学部でも 1 回で情報処理をやりたい ([173] 薬 1 回生 男)
- 総人のクラス指定の情報科学を入れてほしい。 ([681] 総合人間 1 回生 男)
- 法学部の基礎情報処理が語学の授業と同じ時間帯だったため、文学部の基礎情報処理の抽選に参加しましたが、外れてしまいました。教員免許取得のこともあるので、できるだけ 1 回生の内に自学部の情報処理の授業を受けられるようにしてほしいです。 ([687] 法 1 回生 男)
- 基礎情報処理のクラス指定と語学のクラス指定が、かぶらないようにして下さい。 ([690] 法 1 回生 男)
- 語学と重なって取れなかった。 ([701] 法 1 回生 男)
- A 号館 1 階の大きい教室のスクリーンは、後ろの方からでは見えない。 ([761] 工 2 回生 男)

授業方法など

- TA さんをもっと多くしてほしい ([60] 工 2 回生 女)
- もっともっと必修的にして (設備との兼ね合い) もっとやる気を起こさすようにしてもよいと思う ([94] 農 2 回生 男)
- 少し放任主義的な感じを受けたので、もっときちんと一から教えてもらえると良い。あとクラス指定であったのに、定員の半分のパソコンしかなかったのはいけないと思った。 ([245] 農 1 回生 女)
- 1 時間の授業だったため、仕方ないかもしれないが、授業中に実際パソコンに触る時間を、なるべく多く取ってもらいたい。講義を聞いて分かってても、授業時間外で課題を作成するのに分からないことが出てきたりした。また、web 上でのテキストを使う授業だったのだが、家のパソコンを使っていて困った時にも利用できるよう、後 (後期や他年度) も何らかの形でテキストを見られるようにしてもらえたらいいと思う。 ([378] 文 1 回生 女)
- 少人数でもう少しじっくりやりたい。 ([331] 工 1 回生 男)

- 全くの初心者向けの授業があったほうがよい。ある程度知識があることを前提に授業を進められると、全くの初心者はついていくのが大変。というよりも、ついていけない。 ([334] 法 2 回生 男)
- 講義の内容が文系には難易度が高いと感じることがありました (基本的な講義のはずが...) ([156] 総合人間 1 回生 男)
- 書いてあるままに作業して、つまったら質問してやってもらって...、と何をしているのかよく分からないまま終わった。 ([292] 工 1 回生 男)
- 素人への対応が不親切すぎる。これ以上ないくらいの詳しい説明やプリントが欲しい。 ([463] 工 1 回生 男)
- 演習でレポート作成に必要な記述の仕方やデータ処理等を全員ができるようになるような指導をしてほしい (工学部であるため)。 ([222] 工 1 回生 男)
- 理学部の基礎情報処理演習は、超初心者向けの授業といいながら、非常に不親切で高度な内容だったため、ほとんど意味がわからず、コピーマシン状態だった。情報教育を全く受けてこなかった人向けの授業も開講してほしい ([531] 理 1 回生 男)
- 情報処理の講義は全く意味がわからずついていけませんでした ([549] 工 1 回生 女)
- 基礎情報処理について、情報学部でもないのに、こんなことは必要ないと思った。 ([280] 工 1 回生 男)
- 大枠でくくるのではなく Linux ができる人できない人でわけたりしてほしい。クラス単位ではなく ([70] 工 1 回生 男)
- レベル別に分けること ([695] 理 1 回生 男)
- 一からパソコンを使用するという前提の講義がほとんどで、自宅で使用経験のある者にとってはあまり受講したい気にならない ([494] 医 2 回生 男)
- 情報関連といっても、その辺りでやっているワープロの講習に毛が生えたような講義はいらない。また、生まれては消えていく新技術も自分で調べた方がよっぽど効率がいい。求めるのは符号化理論など枯れたものだ。しかしこれは専門で提供されている ([516] 工 2 回生 男)
- 演習 (Unix 系) では Netscape4.x より Mozilla(確か入っていたので) を使うように教えた方がいいと思います (無理なら Netscape6.x/7.x など)。演習テキストはもう少し正確に書くべきだと思います (HTML の所などかなり間違っています) また、折角コンピュータの授業ですから、TEX やその他すばらしいサイトが Web 上に沢山あるので、演習中に積極的に紹介するのは如何でしょうか。参考文献といわれても、最近の学生は本を買わないので。 ([40] 工 2 回生 男)
- 講義の内容や使っているソフトなどが少し古すぎる気がします。少し時代遅れなのではないでしょうか。 ([722] 工 2 回生 男)
- 演習の内容をもっとおもしろいものにして欲しい。 ([285] 工 1 回生 男)
- 実際にパソコンを使わずに、情報関連の講義と名乗るな。パソコンの使い方が分からんまま終わった。 ([345] 経済 1 回生 男)
- 基礎的な授業 (入門的なもの) はあるが、そこから中級までの橋渡しの役割を果たす授業が欲しい。 ([395] 総合人間 2 回生 女)
- 文系学部でも、情報関係の基礎的内容を扱う授業を英語などのように全員が受講しなければならないようにしてほしい。定員を設けて一部の学生のみ受講できる現在の制度はよくないと思う。 ([422] 法 2 回生 女)
- 基礎情報処理 (文学部) は、文学部生にとっても全学共通科目にして欲しい (専門科目扱いにしないで欲しい)。全学共通科目の B 群の単位が足りない時に利用できるように...。 ([472] 文 1 回生 女)
- 「自分で調べる」にもある程度限度があると思います。Google や Naver がいつもアテになるわけではないし、初心者には少しツライ部分があったのではないかと。 ([602] 法 1 回生 女)
- 情報処理演習ではリナックスを使ったが、事前に何の知識も無かったので非常に困った。「習うより慣れよ」とは言うものの、全く知識がない状態では、慣れようがないと思う。 ([683] 工 2 回生 男)

環境の改善など — 34 件

- Mac, Linux を中心にしてほしい ([119] 農 1 回生 男)

- マックはなくしてほしい。 ([757] 工 1 回生 男)
- O S L で VMWare の起動・終了に少々時間がかかるので、できれば高速化をお願いしたいです。 ([201] 工 1 回生 男)
- もっとパソコンの台数を増やして欲しい。 ([350] 農 1 回生 男)
- メディアセンターが少々狭いため、レポートなどを打つ時、手元に資料などを置くことができない。メディアセンター入口の CNN 放送の必要性が理解できない。 ([372] 文 2 回生 男)
- メディアセンターは 24 時間開放して欲しい。 P C のスペック、部屋のアメニティを向上させて欲しい。 P C とプリンターの台数を増やして欲しい。 ([436] 経済 2 回生 男)
- メディアセンターのシステムがダウンして、英語の講義が受けられなかったことが何度もあったし、21 世紀に向けての企業の挑戦 (遠隔講義) で中継が繋がらなくて、なすすべがなかったことがあった。せつくなのにもったいないと思う。これから改善してほしい。 ([479] 経済 1 回生 男)
- せつびは問題ない ([533] 工 1 回生 男)
- 学内ネットワークに学部からもアクセスできるようにしてほしい。家のパソコンから休講情報とか分かったらラクやのに…。 ([397] 農 1 回生 男)

その他

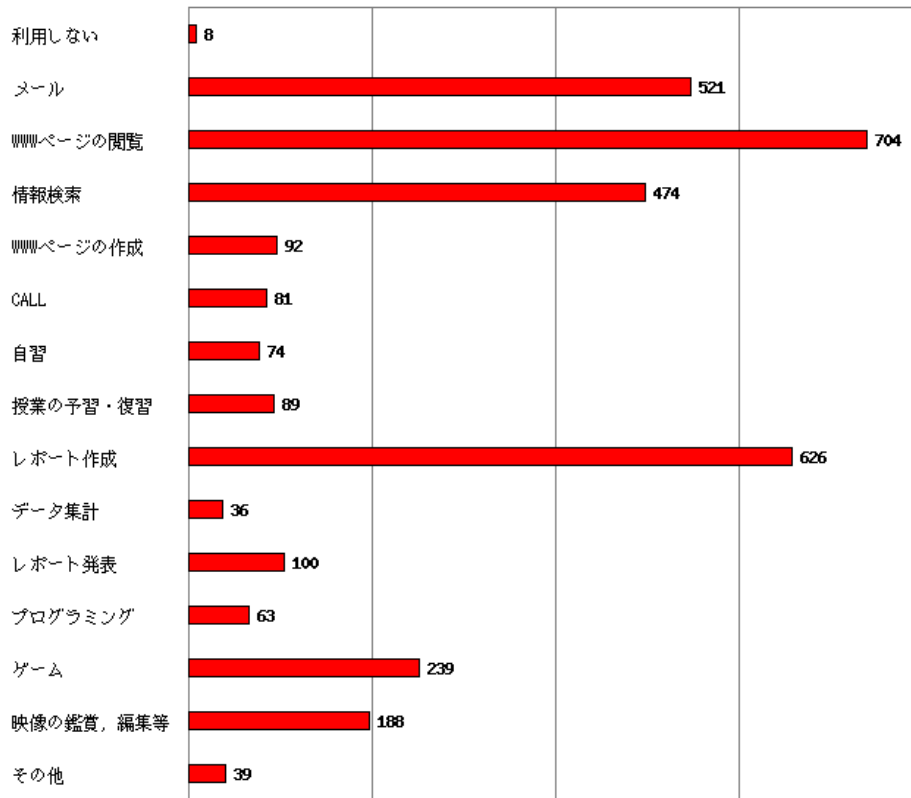
- 時間割の作成関係で授業を取らなかったなので、どのようなことを実際やっているのかがわからないので、特に何も思うところはない ([526] 総合人間 1 回生 男)
- 以上の質問について、どの程度のコトガラが現に教育されているかの資料を持ちませんので言えません。 ([330] 文 2 回生 男)

なし — 67 件

- あまり興味がない。 ([267] 農 1 回生 男)
- 特に必要ないと思う。 ([388] 農 1 回生 男)
- なし。独学で十分。 ([240] 工 2 回生 男)

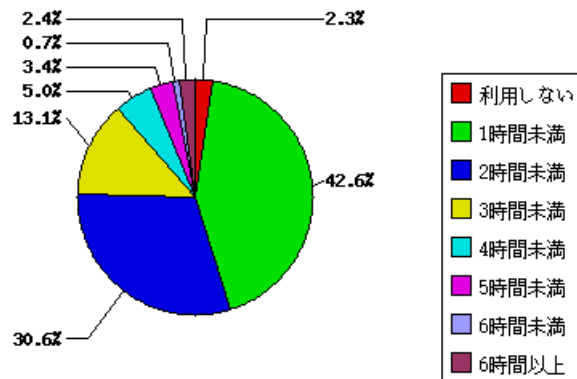
コンピュータの利用状況，利用経験

問 9 情報関連の授業以外で，コンピュータを主にどんな目的で利用していますか．あてはまる番号に をつけて下さい．(複数回答可)



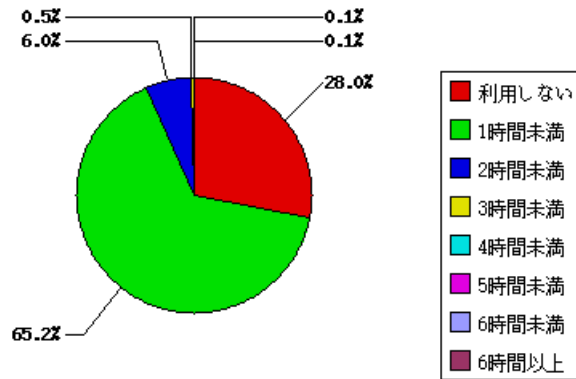
WWWの閲覧とメール，レポート作成が主要な利用法のように見える．WWWの閲覧と較べると情報検索の利用は意外に少ない．

問 10 情報関連の授業時間以外で1日平均何時間ぐらいコンピュータを利用していますか．もっともよくあてはまる番号に をつけて下さい．



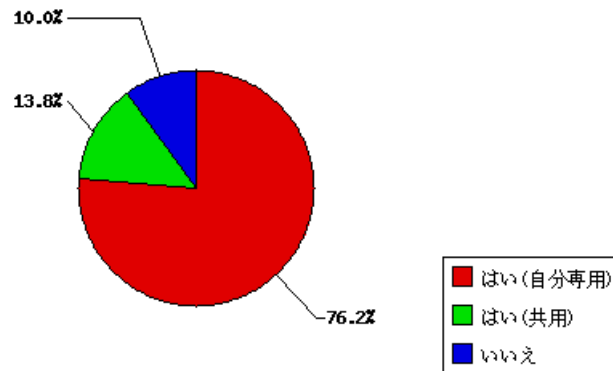
授業時間外にもコンピュータを利用する学生は多い．利用時間はおよそ2時間までのようである．

問 11 問 10 の利用時間のうち，大学では，何時間ぐらいコンピュータを利用していますか．もっともよくあてはまる番号に をつけて下さい．



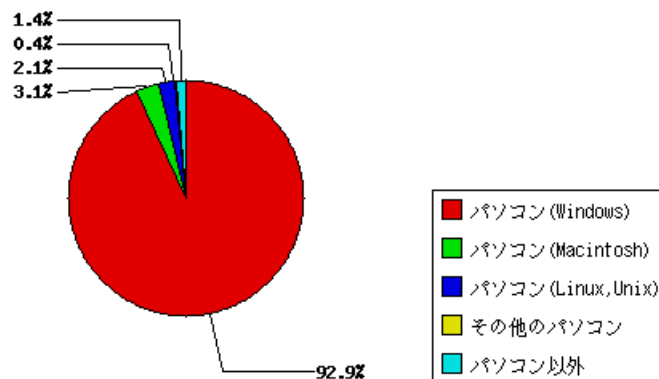
授業時間外にコンピュータを利用することはあっても，大学では利用しない学生が多いようだ．利用する場合もほぼ1時間未満にとどまっている．ヘビーユーザほど，主に個人所有の機器を利用しているものと思われる．

問 12 大学以外でコンピュータを利用していますか．あてはまる番号に をつけて下さい．
「はい」と答えた方は問 13 へ、「いいえ」と答えた方は問 21 へ進んで下さい．



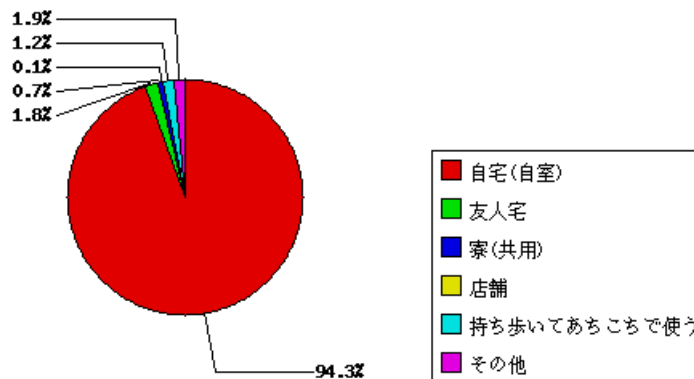
大学以外でコンピュータを利用している割合は，専用，共用を合わせて9割近くに上っている．

問 13 問 12 で「はい」と答えた方におたずねします。大学の設備以外で利用しているコンピュータを挙げて下さい。パソコンの場合は、利用している OS に合わせて選んで下さい。あてはまる番号に をつけて下さい。(複数回答可)



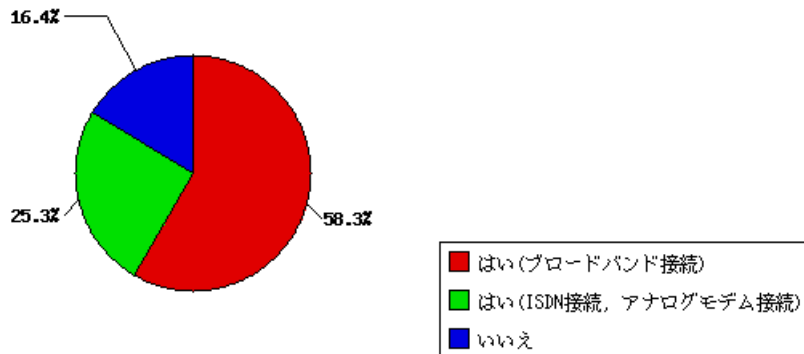
Windows の利用が圧倒的である。Macintosh, Unix 系 OS の利用は思ったよりも少ない。

問 14 問 12 で「はい」と答えた方におたずねします。ふだんコンピュータを利用している場所は大学以外には主にどこですか。あてはまる番号に をつけて下さい。



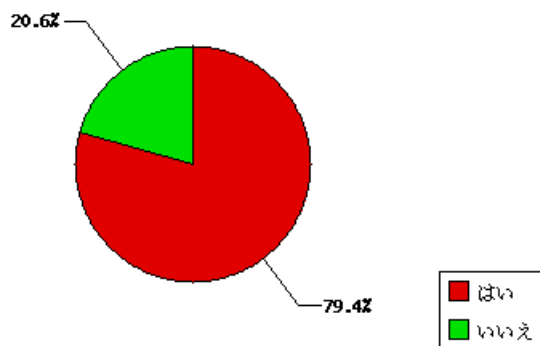
ほとんどが、自宅(自室)で利用しているようだ。持ち歩いて使うのが意外に少ないのは、屋外ではパソコンではなく、携帯電話を利用するためであろうか。

問 15 問 14 で挙げた場所でインターネットを利用していますか。あてはまる番号に をつけて下さい。



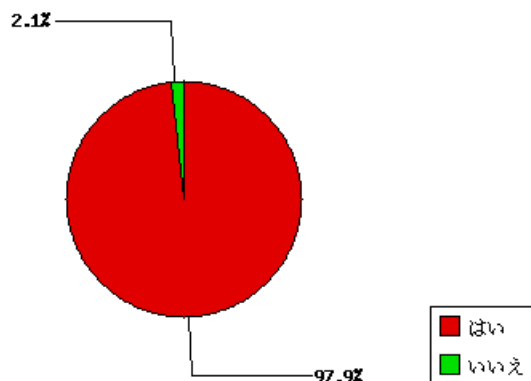
ブロードバンド接続が6割弱、ナローバンド接続も合わせると8割強が大学外でインターネットを利用している。

問 16 個人で所有している機器でインターネットを利用していますか。あてはまる番号に をつけて下さい。
「はい」と答えた方は問 17 へ、「いいえ」と答えた方は問 21 へ進んで下さい。



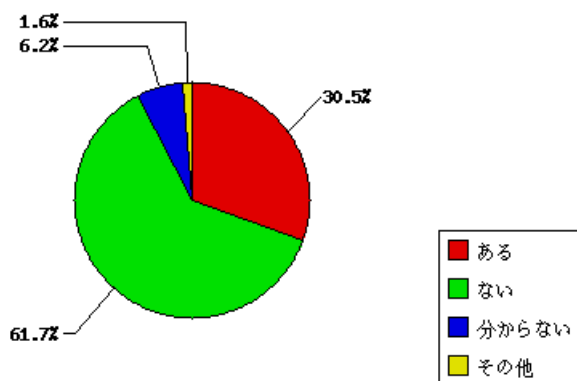
個人所有機器でインターネットを利用しているのは全体の約8割となっている。

問 17 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルスを知っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。
「はい」と答えた方は問 18 へ、「いいえ」と答えた方は問 20 へ進んで下さい。



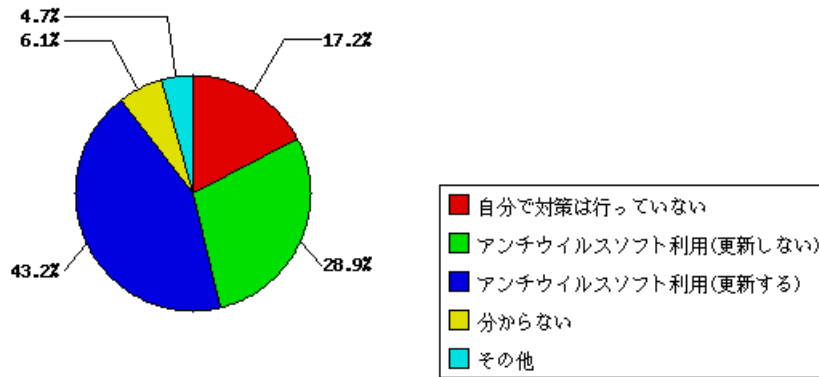
ほとんどの学生がウイルスを知っていると回答している一方で、知らないという回答も若干見られた。

問 18 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルスに感染した経験はありますか。あてはまる番号に をつけて下さい。



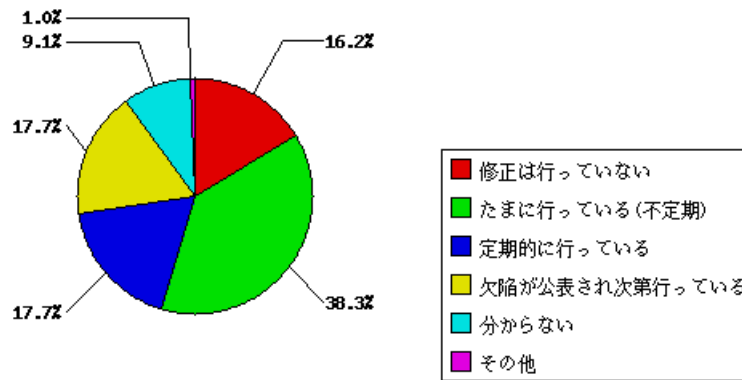
ウイルスの感染経験ありと回答しているのは3割程度であったが、次のウイルス対策に関する設問、およびソフトウェア更新に関する設問への回答の分布から、感染しているのが気づかれないケースもあるようにも思われる。

問 19 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルス対策を行っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。



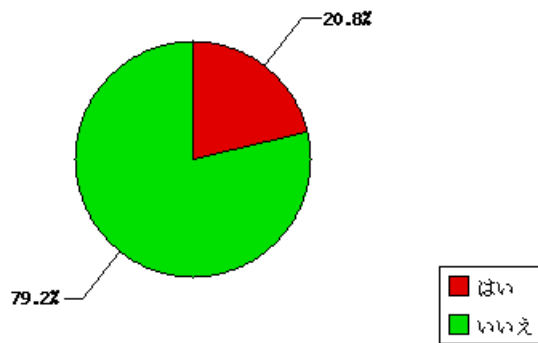
4割強の学生は、アンチウイルスソフトできちんと対策しているようである。一方、アンチウイルスソフトを導入していても、更新していない学生も3割近くに上っている。その他では、ウイルスのターゲットになりにくいソフトウェアを利用するという回答が目立った。

問 20 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。ソフトウェアの欠陥の修正(たとえば、WindowsUpdate など)を行っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。また行っている場合は、できれば、どのように情報を得ているかをお答え下さい。



定期的に行っている、欠陥が公表され次第行っているという回答を合わせると35%ほどである。アンチウイルスソフトを更新して使うというウイルスへの直接的な対策ほどには、ソフトウェアの修正の重要性は認識されていないようである。なお、情報源としては、WindowsUpdate、メーカーあるいはニュースサイト、メールサービス等が挙げられていた。

問 21 高校で情報・コンピュータ関係の授業を受けましたか。あてはまる番号に をつけて下さい。また受けた場合には、それらのうちの主たる一つについて、科目名と主な内容をお答え下さい。



今回の回答者は、情報が高等学校での必修科目ではなかったという背景があり、高等学校での情報関連の授業の受講率は、約 2 割にとどまっている。受講した科目としては、情報専門の科目 (21 件) 以上に、技術・家庭科が多く挙げられていた (27 件)。学習内容としてはリテラシーが中心であった。また Basic 等でプログラミングを学んだという回答も少なからず見受けられた。

科目名

情報科学	情報学概論	情報	情報処理	家庭情報処理	タイピング	プログラミング演習
技術	家庭科	英語	理科	数学	美術	国際理解 I 地理
探究課題	探求基礎	課題研究	総合学習	生活一般	進路学習	

リテラシ (ソフトウェア) — 49 件

- Power Point によるプレゼンテーションの作成など ([280] 工 1 回生 男)
- Word・Excel の基本的な使い方 ([696] 工 1 回生 男)
- 一太郎の技能と修得 ([199] 工 2 回生 男)
- Macintosh のクラリスワークスでの、ワープロ・表計算と、NN でのインターネット利用 (検索など) ([454] 教育 1 回生 女)
- ハイパーカード (Mac) ([214] 工 1 回生 女)
- マセマティカを使用 ([71] 工 1 回生 男)
- 文章の作成、プレゼンテーションに近いことはやった ([44] 総合人間 2 回生 男)

リテラシ (タイピングなど) — 10 件

- タイピングの練習 ([508] 総合人間 1 回生 女)
- ブラインドタッチ ([292] 工 1 回生 男)
- コンピュータに慣れる ([339] 工 1 回生 男)
- パソコン嫌いの克服が主な内容。 ([211] 不明 不明 不明)

プログラミング — 22 件

- Basic の基本的なプログラミングの入門 ([274] 理 2 回生 男)

- C 言語によるプログラミング ([190] 工 2 回生 男)
- Pascal によるプログラミング ([240] 工 2 回生 男)
- 高校の数学の教科書に載っているようなプログラム ([686] 農 2 回生 男)

ネットワーク関連 — 14 件

- Eメールの使い方、Hpの作成 ([52] 文 2 回生 女)
- Web ページの作成 ([729] 理 2 回生 不明)
- インターネットの使い方だけというくだらないもの ([149] 不明 不明 不明)
- インターネットを用いての情報検索 ([387] 農 1 回生 男)
- PC 使ってネットするだけ、ひまつぶし ([154] 文 2 回生 男)

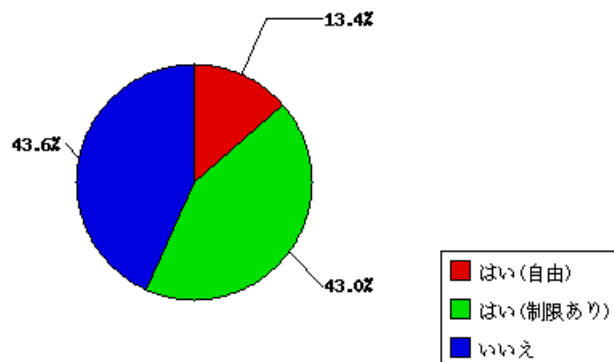
英語 — 5 件

- スクリーンを見て英会話を学ぶなど ([66] 文 1 回生 男)
- パソコンで英語の勉強、ソフトの使い方など ([83] 教育 1 回生 男)
- 英語圏の人と Eメールを交換する (英語で) インターネットのペンパル募集サイトを使った ([170] 総合人間 1 回生 女)
- 英語の授業でパソコンを使っただけ ([642] 理 2 回生 男)
- CALL (英語) ([713] 農 2 回生 男)

その他

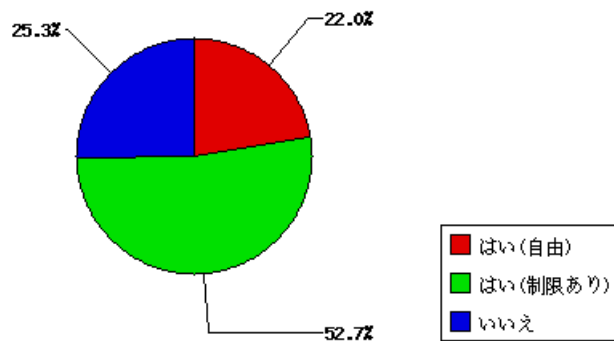
- CG ([538] 工 1 回生 男)
- シミュレーション ([349] 農 2 回生 男)
- 家の設計のようなこと ([569] 法 1 回生 男)
- 基礎情報処理とほぼ同じ内容 ([219] 工 1 回生 男)
- 情報・コンピュータの社会的力について等 ([366] 文 1 回生 女)
- 大学入試の日程を調べた ([597] 法 1 回生 女)
- 調べたいことを知るための方法を学ぶ、知ったことをまとめる方法を学ぶ ([265] 教育 2 回生 女)

問 22 高校でコンピュータを利用できましたか．あてはまる番号に をつけて下さい．
「はい」と答えた方は問 23 へ、「いいえ」と答えた方は問 24 へ進んで下さい．



高等学校でコンピュータを利用できていた割合は，制限がある場合も含めて約 56% である．完全に自由に使える場合に限定すると，約 13% に減少する．

問 23 問 22 で「はい」と答えた方におたずねします．高校でインターネットを利用できましたか．あてはまる番号に をつけて下さい．



高等学校でインターネットを利用できていた割合は，制限がある場合も含めると，コンピュータを利用できていた層のうちの 75% 程度であった．これは回答者全体で見れば，4 割程度となる．完全に自由という回答があったのは，全体としては約 12% であり，コンピュータが自由に利用できた割合とほぼ一致する．

問 24 本学では、現在、情報セキュリティ・情報倫理教育を全学的に実施する準備を進めています。情報セキュリティ(盗聴, 侵入, ウイルスの問題等), 情報倫理(著作権, 複製権, プライバシーの問題等)に関して何かご意見があれば、自由に記述して下さい。

セキュリティ対策, 知的財産権に関する問題など, 情報セキュリティ・情報倫理教育が必要である, そのような教育を望むという意見が多く見られた。実施方法については, 必修の授業でという意見から, 資料を配布すればよいという意見までさまざまな意見があった。また一方で, 情報倫理教育は, 大学ではなく, 初等中等教育で行うべきであるとの意見も見られた。

以下に代表的な回答を示す。回答は適宜カテゴリに分類した。各カテゴリの件数は, そのカテゴリに分類した回答数を示している。

代表的な回答

各回答には ([整理番号] 学部 学年 性別) を付した

情報セキュリティ・情報倫理に関する教育は必要である — 38 件

- 「情報倫理教育を全学的に実施する準備を進めています」 はよやって下さい。 ([391] 経済 1 回生 男)
- これからの情報化社会のモラル教育の一端として非常に重要であると思うので、早急に実現すべきであると思う ([498] 工 1 回生 男)
- 一般の意識が低いので、その手の教育は必修にすべきだ。 ([415] 理 1 回生 男)
- セキュリティ面では最新の対策を行うことを切に望む。倫理面では正しい情報倫理を持っていない人が相当数いると考えられるので、京都大学としても適切な指導・教育を行って頂きたい。 ([479] 経済 1 回生 男)
- 現在の日本はセキュリティに関するごく基本的な知識さえ欠く人間が社会の上層部を占め、諸々の決定権を握っている。このような人間をこれ以上量産しないためにも、文系に常識を教えてもらいたい ([516] 工 2 回生 男)
- 情報セキュリティや情報倫理については、私はほとんど知りません。自分が被害者にならないためだけでなく、加害者にもならないように情報セキュリティ・情報倫理教育を望みます。 ([721] 法 2 回生 男)
- 情報セキュリティと情報倫理の詳しい内容を一から簡単に教えてくれる講座がほしい。 ([672] 教育 2 回生 女)
- 是非やってくださいな。でも、本屋に置いてあるパソコン入門を読めば分かるような中身ではつまらない ([499] 総合人間 1 回生 男)
- 是非やって欲しい。何も知識がない私のような人間は多分すぐにウイルスにやられ、対応も出来ずに枕をぬらすことになってしまう。 ([572] 法 1 回生 男)
- 意見を言えるだけの知識がありません。そういったことの いろは から教わりたいです ([524] 農 1 回生 男)
- 情報倫理の諸問題に関しては、耳にしたことはあるが、実際その内容については知識が曖昧であることがしばしばだと思うので、それに関する教育の充実は大いに望む所である。 ([376] 文 1 回生 男)
- 特に情報倫理についてはよく知らないの、全学的に学べるようにしてもらおうと有難い。ぜひやってほしい。 ([202] 文 1 回生 女)
- 法に触れる触れないの違いをはっきり分かっていない場合が、特に最近は多いと思うので、その辺を講義すればよいと思う。 ([264] 工 1 回生 男)
- 日本ではガードが甘く認識が低いと聞いているので、ガードの現在の状況・水準の開示と、危険の具体性の教示があれば、と思う。 ([332] 法 2 回生 男)

そのような教育は必要であるが全学的に行う必要はない — 4 件

- どんどんそういうことを教えてもらいたい。しかし、講義でなくてもプリントにして配付してもらえれば十分 ([149] 不明 不明 不明)
- メディアセンターのアカウント取得の際に分かりやすい説明を書いたプリントを配布すれば良いのではないかと思う。 ([689] 工 2 回生 男)

- 社会的な要請から、授業設定は必要だと思う。しかし、必修科目にするというより、個人の自主的な判断で修得の有無を考えさせるべきである。 ([708] 工 2 回生 男)
- 大事なことだと思うが、必修にされるのはかなわない。人によって、コンピュータを使いこなす能力が非常に差がある (大学受験科目などと比べると) ので、それを考えてほしい。 ([642] 理 2 回生 男)

(大学では) そのような教育は必要でない — 4 件

- 倫理観は小・中学校くらいで身に付けていないとどうにもならないのではないかと考えます。 ([201] 工 1 回生 男)
- 情報セキュリティについては重要、一般ユーザーのセキュリティ意識はあまりに低すぎる。情報倫理については最近の状況が個人的にはやや過剰反応気味に思えるのであまり教育の重要性を感じない ([494] 医 2 回生 男)
- とりあえず、侵入されたり、ウイルスに感染したりして、データが無くなることさえなければ良い。見られてもいようなものしかない。 ([629] 工 2 回生 男)
- 困らなければオッケーといういいかげんな人なので特には ([154] 文 2 回生 男)

ウイルス，セキュリティに関して — 19 件

- ウイルスについては不安があるので、対策法などを情報関係の授業で教えて欲しい。 ([421] 工 1 回生 男)
- ウイルスに関する授業は必須だと思う。現在、基礎情報処理は教職の必修であり、この科目で教育することで、より多くの人の受講を望めると思う。 ([237] 法 2 回生 男)
- ウイルスの問題に関する知識は乏しいのでぜひ教育を実施してもらいたいです。コンピュータの故障なのか、ウイルスによる被害なのかが分からず修理に出せず困っています。 ([417] 農 2 回生 女)
- セキュリティに関して、技術者のみがコンピュータを使うわけではなく、むしろ一般の非技術者が用いる方が多い。まずこうした層を見えない部分で守る技術をきちんと教えることが重要。しかし、セキュリティは人的要因で崩されることも多く、そうした部分は、技術でなく、基本的に、使う方の意識でしかカバーできない。技術に傾きすぎて、技術を人が使うことを忘れないよう注意してほしい ([17] 工 2 回生 男)
- コンピュータセキュリティに関する問題は、いつまでたっても犯罪者と警察との間のいたちごっこだろう。 ([487] 工 1 回生 男)
- セキュリティに対する正しい知識を身に付けることは大切だが、大学のセキュリティは制限が厳しすぎるので、自分のデータを自分で守るといような主体的な理解は得られにくいと考える。 ([483] 経済 1 回生 男)
- セキュリティをやぶられたことはあるのですか？ ([188] 工 2 回生 男)
- セキュリティを高めるのは良いと思うが、過剰に意識して利便性を損ねては本末転倒である。 ([240] 工 2 回生 男)
- セキュリティ上の不安から、自宅の PC で講義情報等が見れないのであれば、それは解決すべきだと思う。他の理由で見れないのなら仕方ない ([119] 農 1 回生 男)
- 倫理の方は近頃テレビなどでも取り上げられ、耳にする機会も多いが、セキュリティの方は、ソフトウェアに頼っているのが実情なため、セキュリティに重点を置いてほしい。 ([282] 工 1 回生 男)

知的財産権に関して — 15 件

- ウェブ上の著作権の問題は現時点ではほとんど自主規制やユーザー同士の相互チェックに任されているのが実情だと思いますが、その辺りのことも学びたいです ([172] 法 1 回生 女)
- 現状のように、ソフトがただ (無料) で流され続ける状況を改善しないと、社会全体が混乱することになる。 ([654] 工 2 回生 男)
- 自分もそうなのですが、CD に音楽を多くコピーすること。たまに罪悪感を感じます。情報倫理の授業、強く要請！ ([261] 法 2 回生 女)
- 自分自身のために CD を複製することがあるが、最近はそのができない CD が増えた。残念だが、悪用する人がいるので仕方ないかなと思っている。 ([646] 工 2 回生 男)

- 情報倫理について、徹底的に教育をすべき。必要とあれば、CDの無断複製が発覚した場合の罰則などを設けてもよいと思う。特に、情報学科の学生の意識の低さは大きな問題だと思う。([579] 法 1 回生 男)
- 大学内のサイト(各研究室も含む)に出ている図版等の資料については、全て出典を明示させるべきである。([681] 総合人間 1 回生 男)
- 著作権、複製権などについて、最近よく問題になっているので、そのあたりの問題についてくわしくかかれたような冊子を配ってほしい。([331] 工 1 回生 男)
- 著作権で言えば、Winny などファイル交換ソフトがあるので、著作権の保護はあってないようなものだと思う。([344] 工 1 回生 男)
- 著作権に関する問題は複雑なので、専門の教官を招いて講義するなどがよいと思う([517] 理 2 回生 男)
- 著作権はもう少し柔軟にあるべき JASRAC 等の組織は既成のシステムから利益をしばり取ることに熱心で、インターネット時代に対応しているとは思えない。金をとることだけが保護、振興ではないであろう([31] 文 2 回生 男)
- 複製権に対する規制が厳しくなっていくのがいただけない。音楽 CD のコピーすら出来なくなってしまいそうで恐ろしい。([239] 経済 2 回生 男)
- G I F 形式をめぐる著作権問題について、詳しく知りたい。([371] 法 2 回生 男)

プライバシーに関して — 11 件

- プライバシーは守れる状態にしてほしい。公用のものなのである程度チェックが入るのはやむを得ないですが...([148] 農 1 回生 男)
- プライバシー問題についての教育が不十分。(学生の自分の個人情報の管理もままならない 放置しておく悪徳商法に引っかかる等の弊害も) ([718] 工 2 回生 男)
- 情報管理はちゃんとやってほしい。([554] 工 1 回生 女)
- 個人的な情報がもれないように対策を十分に行ってほしい。([596] 法 1 回生 女)
- 無記名だとすごい無責任な議論が感情論になっているのが腹立たしい([532] 工 1 回生 男)

現実的な問題など

- 図書館の O P A C の I E でオートコンプリートが ON になっていたことがあった。検索履歴はともかく、「結果をメールで送信」のテキストボックス内にメアドの履歴がずらっと並んだ時には寒気がした。([379] 文 1 回生 男)
- 先日、メディアセンターの ID とパスワードをノートの端に書いて、そのノートを広げている人がいました。後ろの席から、ID とパスワードが丸見え。セキュリティ意識が全くない人も、まだまだ多くおられるようです。([445] 工 1 回生 男)
- 大学でアダルトサイトが見れるのはどうかと思う。規制すべきでは? ([663] 工 2 回生 男)
- データの紛失、及び改ざんの可能性が大、例えばネットでレポートを提出したとしても、本当に提出できたかどうか分からない ([84] 理 2 回生 男)
- ファイル共有ソフトのポートを閉じようが、根本的解決にはなっていない。([342] 法 1 回生 男)
- 個室のパソコン室を作ってほしい。([322] 工 1 回生 男)
- 学外から Active mail には、web アドを入力するとセキュリティ(?) に弾かれて接続できないが、Google 検索だと容易に接続できる。これはどうかと思う。([435] 工 1 回生 男)
- 学外から掲示板が見れないのは不便(休講情報等) ([690] 法 1 回生 男)
- 電子ジャーナルの使用ができなくなるのが非常に困るので、何とかしてほしい ([511] 工 2 回生 男)
- Winny はやっぱり違法だと思う。([301] 工 1 回生 男)
- 先程逮捕された京大の研究生は確かに政府のサイトのセキュリティ不備を露呈するのに一役買ったと思うが、社会人としての自覚に欠ける行為である。([711] 工 1 回生 男)
- 情報倫理上、好ましくない行いをするような研究員が本学にいるのはまずいのではないかと思います。([687] 法 1 回生 男)

その他

- パソコン初心者向けとパソコンに詳しい人向けの講義を分けて設置してほしい。 ([616] 工 1 回生 男)
- パソコンにおそらく詳しい人と、普通に使っているだけの人の間に大きなひらきがあるから、その底上げからやらないといけないと思う。著作権等に関してはよく知らない人も多数いるのでやるのは有益だと思う。 ([438] 法 1 回生 男)
- 今までコンピュータは、生活のふろくのようなイメージだったが、そうも言ってもらえなくなりましたねー。同世代間にすらデジタル、ディバイドが存在してしまっている事が気になります ([550] 工 1 回生 女)
- Windows をはやく駆逐してほしい。 ([251] 医 2 回生 男)

なし — 63 件

- ないよ ([533] 工 1 回生 男)
- 意見はない ([565] 工 1 回生 男)

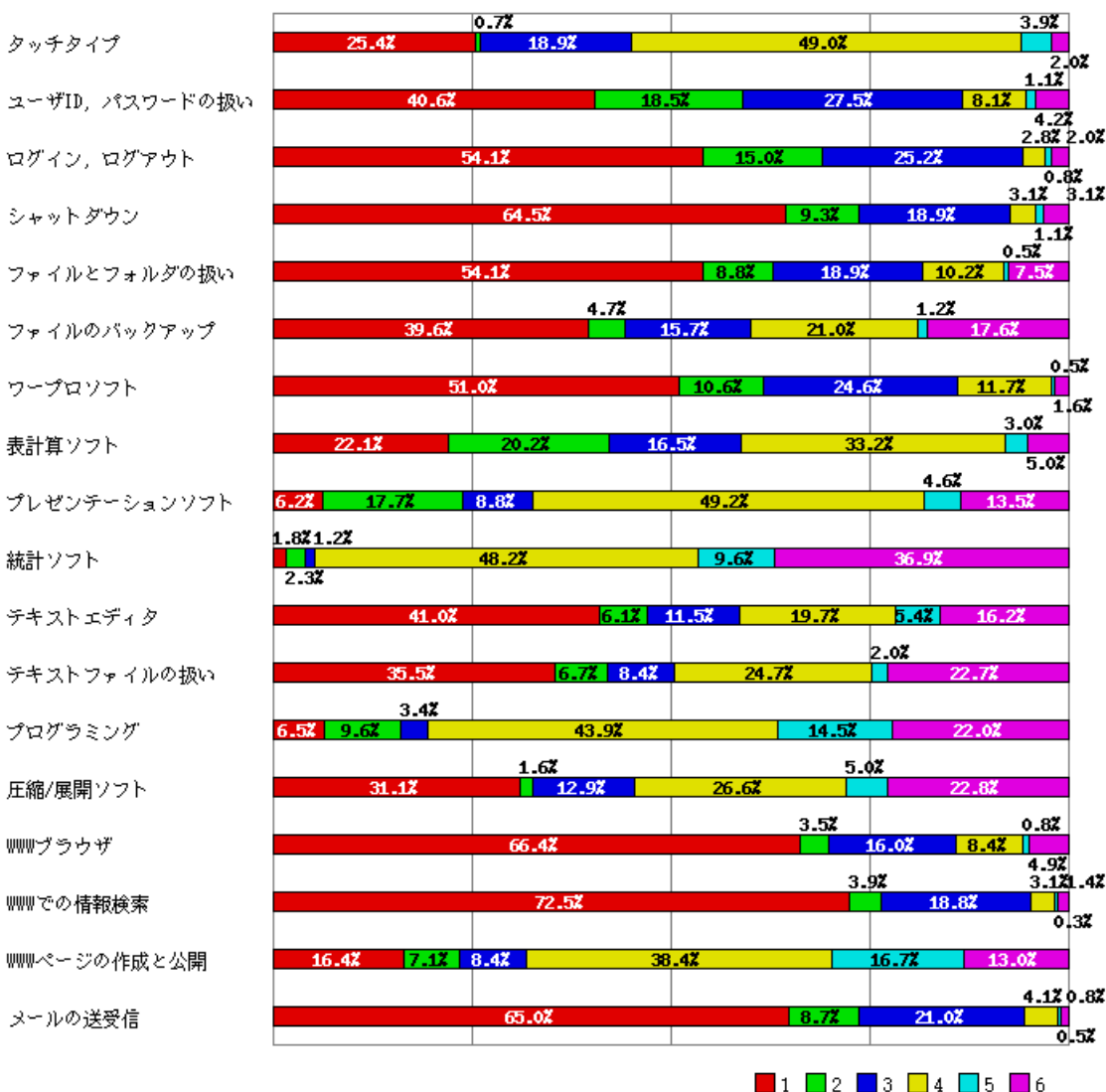
分からない — 5 件

- まだ素人なのでよく分からない。 ([463] 工 1 回生 男)
- コンピュータのことはあんまりわかりません ([134] 農 1 回生 男)

情報関連の技能・知識について

問 25 以下の技能・ソフトウェアの利用法の修得状況等について、次の1～6のうち、いずれか当てはまるものにチェック(✓)を入れて下さい。なお、ここで「修得している」とは、単に学習したというレベルではなく、身につけている、あるいは不自由なく使えるといったレベルを意味しています。

1. 大学入学以前に修得した
2. 大学入学後に大学の授業で修得した
3. 大学入学後に自主的に修得した
4. これから修得してみたい
5. 興味がない
6. 知らない



入学以前に修得したという回答が多かったのが、WWWブラウザ、WWWでの情報検索、メールの送受信といったインターネットのサービスの利用法である。それらにつづいて、ログイン、ログアウト、シャットダウン、ファイルとフォルダの扱いなど、コンピュータ本体の利用法に関して入学以前に修得したとの回答が多かった。さらに、ワープロ、エディタなどのソフトウェアの項目がそれらにつづいている。

修得したい項目として、意外にもタッチタイプが多く挙げられていた。これは、本来、リテラシーの第一段階で学ぶべきであろう。それ以外では、プレゼンテーションソフト、統計ソフト、表計算ソフトなどの利用法、プログラミングについて、修得の希望が多く挙げられていた。

問 26 プログラミングを行ったことがある方におたずねします。使用したプログラミング言語のうち主なものを挙げて下さい。(複数回答可)

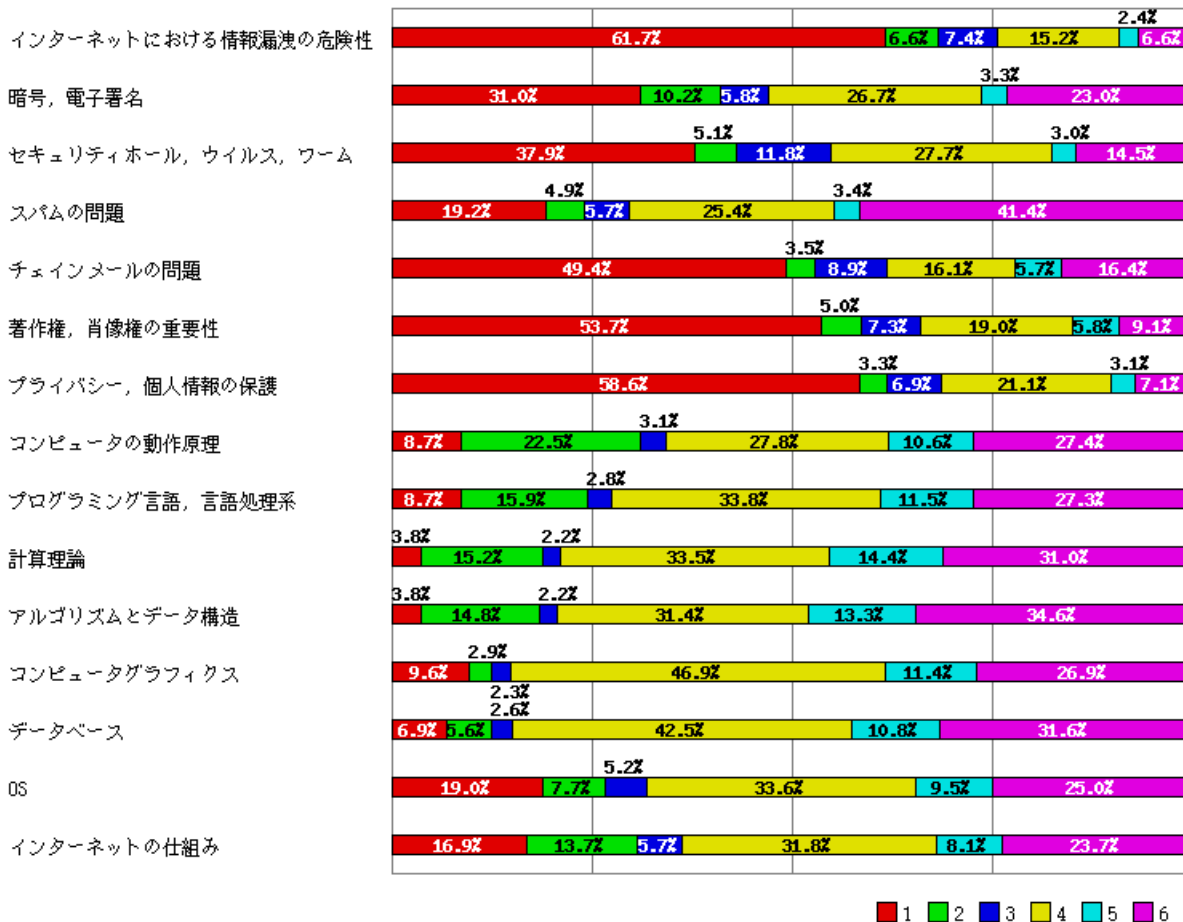
主な回答

C	143	Java	30	html	15
Fortran	90	Perl	14		
BASIC	65	JavaScript	5		
C++,C#	30	Pascal	3		

C, Fortran, BASIC については、大学あるいは高校の演習等で使われるケースが多いのではないと思われる。他には WWW に関連する言語が挙げられていた (html は番外と言えるが)。

問 27 以下の項目の学習状況等について、次の 1～6 のうち、いずれか当てはまるものにチェック (✓) を入れて下さい。

1. 大学入学以前に学んだ (から知っていた)
2. 大学入学後に大学の授業で学んだ
3. 大学入学後に自主学習した
4. これから学んでみたい (知りたい)
5. 興味がない
6. 知らない



インターネットの危険性, マナーに関連する項目については、入学以前に修得済との回答が多く見られた。スパムの問題は、あまり知られていないという結果が得られたが、これは、スパムという用語として知られていないだけで、迷惑メールという用語を使えば、ずいぶんと異なる結果が得られたであろうと思われる (アンケート作成側と回答側の間でのこの用語のズレには、集計の段階で初めて気づいた)。情報科学の諸分野については、入学前、後を問わず、既に学んだという回答は概して少なく、今後学びたいという回答が多く見られた。

問 28 その他、これから学びたいこと、興味があること等があれば、自由に記述して下さい

プログラミング、リテラシーを学びたいという回答が多く寄せられた。その他では、CG、音楽、あるいはDTPなどのデザインの領域の授業を希望する意見、また、情報科学・情報工学の基礎、あるいは最新の話題を取りあげてほしいという意見があった。

以下に代表的な回答を示す。回答は適宜カテゴリに分類した。各カテゴリの件数は、そのカテゴリに分類した回答数を示している。

代表的な回答

各回答には ([整理番号] 学部 学年 性別) を付した

プログラミング — 29 件

- C言語の授業を増やしてほしい。 ([237] 法 2 回生 男)
- パソコンでゲームを作ってみたい。 ([458] 法 1 回生 女)
- プログラミングやCG及びホームページ作成など、PCを受け身的に利用するだけでなく創造のツールとしての利用法 ([421] 工 1 回生 男)
- 何かオブジェクト指向の講義 ([286] 工 1 回生 男)
- 個々のモジュール開発より大規模な開発モデルについて。あと、プログラミングを深く学びたい。 ([17] 工 2 回生 男)
- 上に書いてある事かもしれないが、プログラミングを行った後の計算・数値解析を理論ではなく実戦でやってみよう ([13] 理 2 回生 男)
- 自分でソフトを作ってみたい。またホームページを作成して公開してみたい ([50] 工 2 回生 男)

リテラシ — 28 件

- *EDIcolor, illustrator, Dreamweaver, などのソフトを使いこなす *Linux を使えるようにする ([119] 農 1 回生 男)
- とりえず、ブラインドタッチできるようにになりたい ([155] 総合人間 1 回生 女)
- UNIX, Linux 系統に精通したい ([12] 法 2 回生 男)
- Linux Mathematica ([7] 理 1 回生 男)
- データの圧縮・解凍とかの事について、もっと詳しくなりたい。 ([470] 工 2 回生 男)
- もっとワード・エクセルを自在に使えるようになりたいです。 ([409] 教育 1 回生 女)
- パソコンに関しては初心者なので、ワープロソフト、表計算ソフトは使いこなせるようになりたい。 ([422] 法 2 回生 女)
- 自分で思うとおりのパソコンにして、問題が起これば自力で解決できるくらいになる技術は学びたい。 ([344] 工 1 回生 男)
- 実際に使用できない、応用利用できないことは学ぶ価値がないと思います。情報処理に関しては ([54] 工 2 回生 男)
- 実際に社会に出て多く使うようになるであろうソフトウェアの扱いを大学在学中に勉強・習得したい。大学でもそのようなことができるような手助けがなされることを望む。 ([479] 経済 1 回生 男)
- 実生活に役立つ事。 ([628] 工 2 回生 男)
- 美文章作成 ([27] 文 2 回生 女)
- 進化していくコンピュータに合わせて学習していきたい ([156] 総合人間 1 回生 男)

情報科学、情報工学など — 15 件

- C,Perl, パイオインフォマティク, SPSS,Delto Graph,Adobe ソフト ([733] 工 2 回生 男)

- ・描図・グラフ作成等を含めた、物理現象 simulation ・WWW Page の作成 ([517] 理 2 回生 男)
- アルゴリズムやデータ構造など、もうちょっと中身について知っていききたい。シスアドの勉強もしたい。 ([355] 工 1 回生 男)
- コンピュータの存在自体。使い方ではなく、その作り方。 ([629] 工 2 回生 男)
- コンピュータソフト等の動作原理 ([490] 工 1 回生 男)
- コンピューティング・ファイナンス ([242] 経済 2 回生 男)
- ネットを介した場合の人々の倫理観や心理学等 ([75] 工 1 回生 男)
- 圧縮の仕組み ([81] 工 1 回生 男)
- 最先端で研究されているハードウェア etc について。量子コンピュータ ([498] 工 1 回生 男)
- 情報科学全般をやりたい。 ([465] 経済 1 回生 男)
- 情報学科ですが知らないことばかりなので、まずは色々と基礎的な知識を増やしていきたいと思います。 ([201] 工 1 回生 男)
- 上にあったことは全て学びたい ([70] 工 1 回生 男)
註: 問 27 の内容のことをを指しているものと思われる
- 言語学習 ([751] 工 2 回生 男)

CG , デザインなど — 14 件

- CAD と CG ([547] 工 1 回生 女)
- CAD ソフトの使い方は建築は選択でなく必修にして多い時間をさいてほしい。社会で必要とされる技術をすぐに身につけたい ([532] 工 1 回生 男)
- DTP ([454] 教育 1 回生 女)
- 映像関係 ([24] 教育 2 回生 女)
- 音楽作製 ([380] 工 1 回生 男)
- イラストが描けるようになりたい。 ([342] 法 1 回生 男)
- コンピュータグラフィクス , データベース ([445] 工 1 回生 男)

ネットワーク関連 — 9 件

- HP をきれいにつくること。Java をかじりたい。CGI とかも ([83] 教育 1 回生 男)
- 自分でホームページを作成したい! ([51] 文 2 回生 男)
- HTML 言語について。日常で知っておくべき基礎知識 (ブロードバンド, ADSL, ISDN) ([205] 農 2 回生 女)

その他

- できる人向けと、できない人向けに分けたらいいと思う ([174] 農 2 回生 男)
- ウイルスの扱い ([503] 工 1 回生 男)
- Winny 欲しい ([192] 法 2 回生 男)
- SEO と SEM ([567] 工 1 回生 男)
- 問 27 の用語の意味すら分かりません。 ([581] 法 1 回生 男)

なし — 34 件

- 現時点では特になし。 ([240] 工 2 回生 男)
- なし、なっすいん ([152] 法 1 回生 男)
- 別がない ([239] 経済 2 回生 男)

まとめ

ここではアンケート第1部のまとめとして、まずアンケートを通じて明らかになった事柄および現状の問題点を挙げる。また問題点に対する改善の方法について提案を行う。

授業評価の調査について

授業評価の調査からいくつかの問題が明らかになった。具体的に挙げれば、(1) 習熟度別授業の必要性、(2) 授業が受講できないことの問題、(3) 文系向けの科目の不足である。

習熟度別授業の必要性

授業評価の自由記述の回答中で一番多く見られたのが、授業・演習の難易度にかかわる意見であった。もちろん、個々の科目の内容が多岐にわたるため一概には言えないが、授業について「難しすぎる」、「ついていけない」、「(単位が出なくてもよいから)基本的な操作を学びたい」などという意見がある一方で「簡単すぎて受講する気にならない」、「入学以前にもっていた知識の再確認程度だった」、「もっと専門的なことを学びたい」などの意見も見られた。またもっと明示的に「レベル分けをすべきである」との意見も少なからず寄せられた。

この問題は、入学までの各学生の経験の違いに由来するものであろうと思われる。情報が高等学校で必修となる世代からは、もう少し様相も変わるものと思われるが、大学入試に「情報」が課せられない限りは、数学、英語などの科目とは異なり、今後も入学者全員に対して、ある一定のレベルの知識・技能を前提にすることは難しいだろう。

このことから、できるならば、学部ごとの専門基礎的な部分は別として、一般情報教育については、クラス別編成ではなく、習熟度別のコースを用意することが望ましいといえる。また演習科目においては、演習時間に対する配慮も必要であろう。演習時間が十分かどうか(問 6.h)の設問には、十分とする回答と不十分とする回答がおおよそ同じ割合であり、1週間1コマの授業で時間外の演習に十分取り組める学生もいれば、1週間2コマでの指導を求める学生もいるであろうことがうかがわれる。2コマとした場合、時間割の制約が厳しくなるため、簡単には言えないところもあるが、同じ内容で演習科目と実習科目を用意するなど、弾力的に対応することも検討すべきではないだろうか。

その他には「TAをもっと多くしてほしい」、「少人数でじっくりやりたい」などの意見があった。演習時間中の指導は十分かという問い(問 6.i)について、30%弱は、不十分、あるいはやや不十分であると回答していることから、指導体制についても見直しの余地があることが示唆されている。

授業が受講できないことの問題

授業を取りたくとも取れなかったという意見も多く見られた。その原因としては、必修科目との兼ね合い、受講制限などが挙げられていた。今や、文系・理系を問わず、コンピュータを活用した情報の収集・分析・発信、あるいは情報倫理の知識や技能などは、あらゆる学問分野において不可欠なものであり、受講したくてもできない学生がいる現状は問題である。自由記述においても、「(一般情報科目を)必修にすべきである」という回答が理系だけでなく、文系の学生からも挙げられている。習熟度別の問題や設備の問題と合わせて考えれば、この問題を解決することは容易ではないと思えるが、このような問題を看過することはできない。

なお、授業を取りたくとも取れないという問題については、「望んでいる内容の授業が提供されていない」という回答も見られた。具体的には、たとえば「プログラミング言語Cを基礎から取り上げる講義を行い、Unixでプログラムを作成する演習」を求める回答があったが、そのような授業は実際に存在する。つまり、この問題においては、もちろん、本当にそのような授業が存在しない場合もありうるが、存在はするが必要とする学生に存在が伝わっていない場合もあることが分かる。

これは何も情報の科目に限った問題ではなく、新入生が4月に入学して、履修指針もある程度示され、クラス指定科目等もあるとはいえ、何百とある科目から履修する科目を遅滞なく選択しなければならないという現状では、提供されている授業と望まれている授業とのマッチングがうまくいかないのもある意味無理もないといえる。多種多様な授業が

提供されているのは望ましいことではあるが、授業間の受講者数の極端な偏りがある程度解消する意味でも、学生が適切な授業を選び、自分自身のカリキュラムをキチンと構築するための支援をもっと体系的に行うべきではないだろうか。

文系向けの科目の不足

すでに、教養教育専門委員会・B群科目部会による「文・理の壁を超えるために-文系学部学生に対するB群科目についてのアンケート調査報告書-」(2004.9)においても、理系の全学共通教育科目において、文系の学生に対するケアが十分になされていない旨が指摘されている。本アンケートにおいても、「基本的な講義のはずが文系には難易度が高すぎるように感じた」という意見や「ある程度知識があることを前提に授業を進められると、全くの初心者についてはいけない」という意見が文系の学生から挙がっていた。

またこれらとは別に、「初心者・文系でもやさしくできるプログラミング講座みたいなものがほしい」、「C言語の授業を増やしてほしい」、あるいは「パソコンでゲームを作りたい」などプログラミングの授業を望む声が文系の学生から少なからず挙げられていた。具体的なデータに基づいているわけではないが、文系の学生を意識したプログラミングの演習科目は、あまり提供されていないのではないだろうか。

すでに述べた通り、情報の教養は、文・理を問わず不可欠なものであり、文系であるからプログラミングの素養は不要であるなどとは決して言えない。実際にツールを作成することはもちろんのこと、既存のツールを効率的に利用するためにも、プログラミングの素養は欠かすことができない。「文系」、「理系」という既成の枠組みにとらわれない人材を育成する意味でも、文系向けを意識した情報科目が必要であると思われる。

コンピュータの利用状況、利用経験、情報倫理について

まずコンピュータの利用状況(問9)の調査結果から、コミュニケーション、情報収集のツールとして、あるいはレポートを作成するためのツールとして、コンピュータが学生の生活に十分に浸透していることが分かる。ただし、大学でコンピュータを利用する時間(問11)はそれほど多いわけではなく、かなり多くの学生が自宅等、学外でコンピュータおよびネットワークを利用している実態が見て取れる(問12,14-16)。いわゆるブロードバンド環境を利用しているとの回答も約6割を占めていた。

このようにすでに個人レベルで環境の情報化がかなり進んでいるのにも関わらずセキュリティ対策が十分には行われていない(問18-20)。また少なくとも現時点では、高等学校で十分な情報教育が行われているとはいえず(問21)、環境の整備もさほど進んでいるようにも見えない(問22,23)。現代のネットワーク社会においては、セキュリティおよび倫理の意識をしっかりと持っていなければ、誰もが簡単にさまざまなトラブルの被害者、さらには知らない間に加害者にさえなり得る。しかし、調査の結果は、個人の情報化に教育現場が必ずしも追いついていないのが現状であることを示唆している。

情報セキュリティ・情報倫理教育に関する問い(問24)に対する回答からは、多くの学生は、やはりこのような状況に不安や問題意識をもっており、セキュリティ・倫理教育に対して高い関心を持っていることがうかがえる。技術がめまぐるしく進歩し、個人に対するセキュリティの脅威の問題、知的財産権を巡るトラブルなどが頻発している現状においては、これらの問題に適切に対処していくために、実務レベルも含めて、大学として、セキュリティ・倫理教育に遅滞なく取り組んでいく必要がある。

なお、本来、基本的なセキュリティ・倫理教育は、初等中等教育のできるだけ早い段階からしっかりと行うべきである。実際、そのような意見も回答の中で見られた。ただし、これは大学でのセキュリティ・倫理教育が不要であることを意味するものではない。専門の研究者としてもつべき情報セキュリティ、倫理観あるいは知的財産権に対する意識などは、大学で養うべきものである。

情報関連の技能・知識について

問25の調査結果から、コンピュータの基本的な扱い、メールの送受信、WWWの利用あるいはワープロソフトの利用といった基礎的なリテラシーについては、大学入学以前に修得済ということが分かった。高等学校での情報の必修化に

ともない、これらのリテラシーについては、ますますその傾向が強くなることは間違いないだろう。なお本来、もっと基礎的な技能であるはずのタッチタイピングについては、大学での授業や自主学習を含めても修得率は半数未満であり、これから修得したいという回答が半数近くを占めていたことは注目に値する。キーボードは、入力インターフェイスとして今後も使われつづけるであろうし、タッチタイピングの技能の有無は、作業効率に大きく影響するため、学習のできるだけ早い段階で身につけておくことが望ましいだろう。

データ分析、プレゼンテーションに関連するリテラシーについては、大学入学以前に修得したという回答は少なく、これから修得したいという回答が多かった。プログラミングについても同様であった。これらは、研究活動を行う上で必須のものであり、研究者の視点での情報の収集、分析、プレゼンテーションの方法、さらにコンピュータを活用した文章の作成法などは、大学での情報教育として取り組んでいく課題の一つとなるのではないだろうか。

問 27 の調査結果からは、情報セキュリティ、情報倫理の諸問題については、大学入学以前に修得した率が思いのほか高かった。それにも関わらず、問 24 で情報セキュリティ、情報倫理教育を求める声が大きかったことは、何らかの形で学習はしたことがあり、問題としては意識しているものの、状況の変化の早さもあり、十分な学習ができておらず、諸問題に自分で対処できるというレベルには達していないと考えていることの表れではないだろうか。なお、スパム (spam) の問題については、現在のメールトラフィックの状況から推し量れば、「迷惑メール」という表現を用いていけば、他と同等か、それ以上に修得済との回答が得られたのではないかと思われる。

情報科学の諸分野は、全学共通教育においては、まさに情報における教養教育にあたるものである。これらについては、大学以前での修得率は、総じて低く、これから修得したいという回答が 30%~50% 弱という割合で見られた。とくにコンピュータグラフィクスとデータベースについて、修得したいという回答が多く見られた。一方、これら情報科学の諸分野については、単に「知らない」とする回答が 30% 前後、興味が無いとする回答も 10% 前後見られ、このような教養には関心をもたない層が少なくないことが見てとれた。

最後に

今回のアンケートは、調査したい項目を次々と挙げていったことで、結果として、かなりの分量になってしまった。それにも関わらず、最後までキチンと回答をしていただいた学生のみなさんには、この場を借りてお礼を申し上げる。また、アンケートの作成から実施、さらに膨大な集計作業にご協力いただいた共通教育推進部のスタッフの方々にも深く感謝したい。本報告書の発表が遅れたのは、ひとえに筆者の怠惰に起因するものである。

今回のアンケートでは、自由記述の各問にもさまざまな意見が寄せられ、情報教育への関心の高さがうかがえた。回答数は必ずしも十分多いとはいえないにせよ、情報教育の現状に対する評価、あるいは情報教育に対する要望などを知ることができたのは大きな収穫であった。そのような声に応えるためにも、今回の成果を、是非、一般情報教育の改善に活かしていきたい。

なお、情報教育を語る際にコンピュータの存在を忘れることはできないが、「情報教育 = コンピュータを使うための教育」とはいえないはずである。しかし、今回のアンケートでも、情報倫理も含めて、情報機器の利用などに関する調査はすなわちコンピュータを主役とする調査であり、授業評価の調査に関しても、対象となったのは、いわゆるコンピュータリテラシー科目が中心であった。また情報に関する技能や知識の調査においても、コンピュータを中心に据えていた。

もちろん、コンピュータに関わる諸分野は、今後も情報教育の重要な要素でありつづけることはまず間違いないが、本学で情報教育専門委員会が他の教育専門委員会から独立して設けられていることから分かるように、本来、情報教育とは、文・理の区別なく人間のあらゆる知的活動にかかわる情報を扱う素養を身につける場である。今後は、このような広い意味での情報教育の在り方についても、議論を行い、大学での教育の基盤としていきたい。

一般情報教育に関するアンケート 報告書—第2部

アンケートの概要

本アンケートの第2部では、本学の情報教育の基盤である学術情報メディアセンターの教育用計算機システムについて、その利用状況や同システムへの意見、要望などを学部生を対象に質問紙による方法で調査した。「はじめに」で述べたように本調査は本学、高等教育研究開発推進機構の情報教育専門委員会による情報教育についての調査と併せて実施したものであり、主として本学1,2回生を対象としている。回答の回収率は約13.5%であった。回収率が必ずしも高いことや回答の提出が任意であることなどから、分析にあたっては関心が高い学生が答えたなどのバイアスが含まれている可能性があることに留意する必要がある。しかしながら調査対象全体の13%以上の学生からの意見という意味で貴重な情報である。

回答の分析にあたって、理科系の学部、文科系の学部に分類してその傾向を調べた。理科系と文科系では実施されている情報教育の内容や個人の情報環境に相違などがあると考えられたからである。また、理科系の学部の内、人数的に多い工学部、理学部および農学部は専門教育の行われるキャンパスが自由利用の端末をOSLとして設置している本センター南館からかなり遠いという地理的要因もある。

調査結果として得られたサービスの利用状況については、電子メールの利用が回答の7割程度と高く、これにOSL・サテライト端末の約5割がつづく。ダイヤル接続、情報コンセントについても1割以上の学生が利用している。それほど顕著な差ではないが、全般に文科系学生のほうが利用率は高い。これは理科系学生のパソコンの保有などが要因ではないかと考えられる。電子メールサービスについては他のアドレスとの併用状況は多様であり、「あまり使わない」という回答も3割近くに達する。これは学生への連絡方法として電子メールを利用する際の留意点と言えよう。

OSLやサテライトでの端末利用に関しては、利用の中心は本センター南館であるが、理科系学部ではサテライトの利用もある程度存在する。特に理、工、農学部でのサテライト利用が多く、今後、吉田本部地区、北部地区での利用に配慮したOSL配置が望まれる。利用OSについてはWindowsが圧倒的に多いが、理科系学部ではLinuxの利用も1割程度存在する。利用目的もWWW、レポート作成、電子メールが中心でデータ処理やプログラミングは全体の1割にも満たない。特に文科系ではプログラミング利用はほとんどなされていない。自由記述の部分では「印刷に利用」という回答が一定数あった。これはパソコンなどを保有する学生が学内での印刷にのみ本センターを利用している状況を示唆している。

利用ソフトウェアに関してもWord, Excel, Webブラウザとする回答が多く、PowerPointは回答がかなり少なくなる。これは1,2回生ではプレゼンテーションの機会が少ないことを反映していると考えられる。同じオフィスソフトでもAccessはほとんど利用されていない。このほかTeXの利用も理科系を中心にある程度存在する。テキストエディタに関して、回答は1割弱、内訳は「メモ帳」が最も多く、これにTerapad, Emacs/Muleが続く。必ずしも高機能のエディタが使われていない点に興味深い点があるが、プログラミング言語によっては統合開発環境を提供しており、独立のテキストエディタを用いないものもある点に注意を要する。プログラミング言語に関しては回答数がかかなり少ないがこれは、本格的なプログラミングをする学生は自身が保有しているパソコンを利用していることが要因と考えられる。回答の内訳として最も多いのがFortran系で、大学教育での根強いFortranニーズが伺える。

プリンタの枚数制限では大半の学生が問題なしとしている。利用されている外部記憶メディアに関してフロッピーディスクとする回答が多く、利便性の高いUSB接続のフラッシュメモリの利用はまだ少ない。一方、自由記述の要望からは本センターで意図的に導入を見送っているCD-Rの利用希望が多く寄せられており、利用者への広報などの努力も必要であろう。端末数に関しては不足感を訴える回答が5割近くにのぼり、また開室時間についても土日の開室を望むものがやはり5割近くあり、自由記述でもかなりの指摘がある。この点については今後の改善を検討すべき課題と言えよう。その他、自由記述ではやはり端末系のサービスに関連する要望が多く寄せられている。

実施および集計方法

本学での学部学生を対象とするアンケート調査は調査そのものに困難さがある。それは対象学生に質問紙を配布する効果的な手法がないことである。最も効果的な方法は自宅への郵送であるが、かなりの費用が生ずることと個人情報扱わなければならないことが難点である。また、最近では学生を対象にさまざまなアンケートが実施されるようになってきており、学生にアンケート疲れが生じているのではないかと懸念もある。

これらの点を考慮して、以下のような調査を行った。調査対象が主に1, 2回生に限られており、3回生以上の学部生の状況を把握できないという難点があるが、本学における情報教育が主に1, 2回生を中心に展開されていることから、ある程度の状況把握はできるものと考えられる。なお、プログラミングや数値計算など専門教育として情報処理の教育が行われている理科系学部の3回生以上の状況の把握ができていないことに注意を要する。また、医療短期大学部は調査対象には含まれていない。平成15年10月に同部を改組して医学部保健学科が設置され、平成16年度からは同学科の教育が始まっていることにも注意を要する。

- 調査対象：本学学部生のうち語学の授業を履修しているもの（対象数 5632、主に1, 2回生）
- 調査方法：語学の授業時間に質問紙・調査票を配布し、回答を高等教育研究開発推進機構ならびに本センター南館に設置した回収箱に提出させる。
- 調査時期：質問紙配布 平成16年1月8日開始、質問紙回収期限 平成16年2月5日
- 回答数：761件

学部別の回答の回収状況は次の表の通りである。なお、所属学部名が記入されていないもののうち、併せて実施した第1部の調査の方に所属が記載されていたものは、それで補った。双方ともに所属学部が記載されていないものは2件あった。回収率が低い学部として薬学部(8.6%)、経済学部(7%)、医学部(3%)が挙げられる。特に医学部が極端に低い。その理由は定かではないが、医学部のカリキュラムでは本格的な情報教育が3回生から始まることも一因と考えられる。なお、学部ごとの回収数が少ないため、学部による傾向を分析することは難しい。以下では

文科系学部：総合人間学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部

理科系学部：理学部、医学部、薬学部、工学部、農学部

という分類で集計して分析を行っている。

また、記述式の回答については全解答を精読したのち、それらをいくつかのカテゴリーに分類して回答を紹介している。

学部	回収数	学生数	回収率(%)
総合人間学部	31	268	11.57
文学部	47	445	10.56
教育学部	27	129	20.93
法学部	108	744	14.52
経済学部	35	496	7.06
理学部	71	600	11.83
医学部	6	205	2.93
薬学部	15	175	8.57
工学部	307	1946	15.78
農学部	112	624	17.95
不明	2	5632	13.49
文科系小計	248	2082	11.91
理科系小計	511	3550	14.39
合計	761	5632	13.51

アンケート結果

教育用計算機システムのサービス利用状況

問2 当センター教育用計算機システムの利用者としてどのようなサービスを利用されていますか。ご利用のサービスすべてにチェックしてください。

まず、本センターの教育用計算機システムとして提供しているサービスのうち、どのようなものを利用しているかを複数回答の形で聞いた。その結果は以下の表のとおりである。電子メールと情報コンセントの利用において、文科系学生の回答がやや多いことが特徴である。

サービス	電子メール	OSL・サテライト端末	ダイヤル接続	情報コンセント	SSH*	その他	特に利用していない
総回答数	524	398	110	108	11	13	140
文科系回答率 (%)	77	54	16	19	0.4	1.2	16
理科系回答率 (%)	65	52	14	12	2	2	19

* SSH ポートフォワーディングサービス

電子メールサービスの利用状況

問3 当システムの電子メールアドレスのご利用状況について、該当するもの1つにチェックしてください。

アドレスの利用	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
このアドレスのみを利用	233	31	31
他と併用、このアドレスを主に利用	31	5.2	3.5
他と併用、用途によって使い分ける	103	17	12
他と併用、このアドレスはあまり使わない	202	28	26
その他	2	0.4	0.2

問4 当システムの電子メールの読み書きを行っている場所と方法について該当するものすべてにチェックして下さい。

場所	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
OSL やサテライト	431	61	55
自宅	252	38	31
その他	14	2.8	1.4

メーラ	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
Active Mail (Web Mail)	498	74	62
その他	77	11	9.8

メールの読み書きに関しては、文科系のほうが本センターの利用率が高いことを除いて特に文科系、理科系の相違は少ない。メールアドレスの利用形態は多様であり、「あまり使わない」という回答が一定割合で存在する。利用者への連絡方法として、利用者に割り当てられる電子メールアドレスの利用が挙げられるが、先の理由からその到達性に関しては注意を要する。

OSL やサテライトの利用状況

問5 ご利用の箇所について該当するものにチェックして下さい。

場所 場所	学術情報メディア センター南館 OSL	総合人間学部 図書館 OSL	附属図書館 OSL	サテライト
総回答数	467	212	193	153
文科系回答率 (%)	65	35	32	11
理科系回答率 (%)	60	25	23	24

利用サテライトの内訳については、総人(11)、文(11)、教育(0)、法(5)、経済(9)、理(42)、医(1)、薬(4)、工(42)、農(33)となっており、OSL から距離のある理学、農学、工学部での利用が目立つ。

問6 利用されている OS をチェックして下さい。

OS	Windows	Linux
総回答数	614	58
文科系回答率 (%)	83	2.8
理科系回答率 (%)	80	10

教育用計算機システムでは仮想マシン技術を利用して、1 台の端末で Windows と Linux を同時に稼働させており、利用者はどちらの OS でも利用できる。調査結果では利用 OS に関しては特に文科系では大半が Windows であり、理科系では一定数、Linux を利用する利用者が存在している。

問7 ご利用の目的で該当するものにチェックして下さい。

用途	WWW など での情報検索	電子メール	データ処理	プログラミング	レポート・論文 ・プレゼンテー ション作成	その他
総回答数	568	472	62	57	479	29
文科系回答率 (%)	75	68	8.1	2.4	68	2.8
理科系回答率 (%)	75	60	8.2	10	61	4.3

「その他」の回答としては、印刷(15)、演習課題(2)、電子ジャーナル(2)、HP 作成、CAD、CALL、SSH で自宅に接続、バックアップ、自習 Web、デザイン、講義レジメなどが寄せられている()内は同種の回答数である。

電子メール、レポート・論文・プレゼンテーション作成においては文科系の回答率がやや高い。一方、プログラミングについては回答率そのものが低い、理科系の回答率が高い。「その他」の回答で目立つものが「印刷」である。これはパソコンなどを保有する学生が授業での必要に応じて印刷のみ本システムで行うケースも少なくないことを示唆する。

問 8 よくご利用になっているソフトウェアすべてにチェックして下さい。

ソフト	Word	Excel	PowerPoint	Access	Web*	SPSS	Maple	T _E X
総回答数	544	236	70	1	376	5	5	39
文科系回答率 (%)	77	28	8.5	0	50	1.2	0.4	1.2
理科系回答率 (%)	69	33	9.6	0.2	50	0.4	0.8	7.0

* Web ブラウザ

利用ソフトとしては Word, Excel, Web ブラウザなどが多く, PowerPoint がこれに続く. 理科系では T_EX の利用も一定数存在する. オフィスソフトの中ではデータベースソフト Access の利用はほとんどない.

ソフト	プログラミング 言語処理系	テキストエディタ	その他
総回答数	32	75	7
文科系回答率 (%)	1.2	7.3	1.6
理科系回答率 (%)	5.7	11	0.6

具体的回答例として, プログラミング言語については Fortran 系 (13), C,C++ 系 (7) などが多く, このほか Java(3), Perl(2), Ruby, VB, Basic, Mathematica など回答された. プログラミング言語ではない回答 Dreamweaver, Cygwin, linux, mule も含まれている. エディタについては, メモ帳 (41) が圧倒的に多く, これに Terapad (9), Emacs/Mule(7) が続く. このほか Wordpad(3), Word(2), vi(1), 秀丸 (2), Jnote, Kqami, Emeditor, XYZZY, などの回答があった. またエディタではないと思われる回答 HSP, C 言語も含まれていた. その他については photoshop, flash5, cubaseVST, AcrobatReader, closepopup, trullian, Iria, OpenSSH, Outlook, IrfanView, MSPaint などが寄せられた (多くのソフトを挙げた回答者が存在), 寄せられた回答には個人の所有するパソコンで利用しているソフトについて回答したと思われるものが含まれている.

プログラミング言語としては Fortran が根強いニーズを持っていることが伺える一方, Java やスクリプト系の言語など比較的新しい言語の利用は少ない. テキストエディタに関しても高機能なエディタを回答したものが少ない. ただし, 利用するプログラミング言語によっては独立したエディタに依存しない統合開発環境を提供していることに注意を要する.

問 9 プリンタの利用を年間 1000 枚を上限としています. この制限についてご意見をお聞かせください.

選択肢	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
問題は感じない	587	78	77
不足するが, 超過分について有償ならば使わない	30	4.4	3.7
不足するが, 超過分についても実費負担で利用したい	10	1.2	1.4

問 10 利用されている外部記憶メディアについてお教えてください.

メディア	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
特に利用しない	224	25	32
フロッピーディスク	313	50	37
MO ディスク	13	1.2	2.0
USB 接続のフラッシュメモリ	90	11	12
USB 接続のその他のメディア	15	0.8	2.6

主たる外部記憶メディアとして, フロッピーディスクの使用が多い. しかしながら, 運用の実態としてはフロッピーディスクはシャッター外れなどの事故がかなり発生している. 本センターとしては外部記憶メディアとして USB 接続のフラッシュメモリを推奨しているが必ずしも浸透していない状況が伺われる.

問 11 OSL の端末数について

OSL の端末数について	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
特に不足は感じない	244	27	35
OSL に来て空いていないときが たまにあり、やや不足を感じる	282	40	36
OSL に来て空いていないときが しばしばあり、不足を感じる	90	15	10

OSL の端末に関しては「やや不足を感じる」、「不足を感じる」で半数近くとなる。サテライトなどの有効利用とともに今後の端末の充実が求められる。

問 12 OSL の設置場所について

OSL の設置場所について	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
適当だと思う	451	58	60
利用上やや不便	147	21	19
利用上かなり不便	22	3.6	2.6

OSL の設置場所に関しては適当とする意見が主であるが、「かなり不便」と答えた場合に具体的記述を求めたところ、遠い (4)、本部地区から遠い (4)、北部に欲しい (3) など本部地区、北部地区からの不便さが指摘された。このほか、台数が少ない (2)、吉田に行かない、混雑する、トイレが遠い、もっと広く設置、時間、などの意見が寄せられている。

問 13 OSL の開室時間について

OSL の開室時間について	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
適当だと思う	131	14	19
開室時刻を早くしてほしい	149	23	18
閉室時刻を遅くしてほしい	119	17	15
土曜、日曜にも開けてほしい	381	54	48

OSL の開室時間については、半数近くの学生から土曜、日曜の開室を求める声が寄せられた。現状の運用では人員面で土日開室はかなり難しいが、運用方法を含めた検討が求められる。

問 14 窓口での当センターの職員や TA の対応について

窓口での対応について	総回答数	文科系回答率 (%)	理科系回答率 (%)
丁寧に対応してもらっている	74	8.5	10
対応は普通である	188	29	23
対応は不十分である	46	6.9	5.7
あまり利用しないのでなんとも言えない	308	38	42

本システムへの要望又は意見

本調査では最後に本システムへの要望や意見を自由記述の形で求めた。情報教育も含めて比較的長い質問紙を用いたためか、自由記述として寄せられた意見の数は総回答数に比べ少ないが、改善などの要望としては概ね以下のような意見が寄せられた。主だった意見としては、土日の開室を求めるもの、端末の台数や性能の向上を求めるもの、空調の改善、メンテナンスの改善を求めるものなどが多い。外部記憶として CD-R などの利用を求めるものも一定数寄せられている。本システムではソフトウェア等の違法コピーを助長しないために CD-R の導入を見送っているが、問 10 についての回答状況からも伺えるように、その代替としての USB 接続のフラッシュメモリが十分に浸透していないこともあり、利用者の一層の理解を求める必要がある。

寄せられた自由記述意見

開室時間 — 24 件

- 自宅でコンピュータを使うようになってからは、特に考えていませんが、自宅にない人は土・日閉室は辛いと思います。
- 土日でも OSL を開けて欲しいです。
- 時間拡張。
- 北館も開放してほしい。
- 医学部サテライトだけ 24 時間（？）利用 OK なのはずい。農学部ももっと遅い時間まで利用できるようにしてほしい。
- 土、日を含め、24h 開けてほしい。
- 24 時間空けておいて欲しい。
- 土日祝も使わせてほしい。
- あと、OSL を休日にも開けてほしいです。
- 平日夜 8 時まで、土日祝日は閉まっているというのは、極めて不便。この不便さが理由で、PC を購入、又ネット接続をせざるをえなくなった友人が何人かいる。
- 土、日も開けてほしい。
- 閉室時刻について：ルネも開いている（夜 10 時までくらいは...）
- 土・日開室について：切実に思います。家にパソコンがないので...
- 利用時間を長くしてほしい。
- 土、日どちらかだけでも開いていると非常に助かります。
- OSL の開室時刻を早めたり、土・日の開室をしてけると非常に助かります。家でネットをつないでいないので ...
- レポート作成をする人が集中する時期限定でメディアセンターの開館時間を延長できないものでしょうか（朝早くでも夜遅くでも）。その分長期休暇中など開館時間が短くてもあまり困る人はいないと思います。
- また、現在のところ土・日・祝日の利用が全くできないため、授業での課題を Web 上で示されたり、レポートをメールで送るよう指示された場合の対応が困難である。図書館や各部局の OSL、サテライト開館日をずらすなどして「毎日どこかで利用できる」体勢にしてほしい。
- 土・日に利用したい。リナックス等家で利用できないので。
- もっと利用できる時間帯・端末ともに増やしてほしい。
- 問 13 でも書きましたた、OSL を土・日にも開けてほしいです。
- 土曜・休日に、図書館利用時間など、場所・時間を制限してでも開室するべき。
- 問 13. 「土・日開けてほしい」ことを、特に希望します。
- 問 13. 「土・日開けてほしい」と、たまにそう思う。

空調など — 11 件

- メディアセンターが暑い。
- メディアセンターの中がちょっとあつい。あれはコンピュータにかなり悪影響と思われる。
- たまには換気をしてほしいです。
- ちょっとメディアセンの空調が悪いかなぁ、と思う。もう少し低温でよいのでは。
- 人や、パソコンから出る熱のせいだと思うが、いつもメディアセンターは暑すぎるのと空気が悪い。換気するなりしてほしいです（特に夏は、パソコン大丈夫なのかと思うのですが..）
- 居心地があまり良くないように思います。建物のつくりの問題も気になります。
- 足を怪我した時にメディアセンターのエレベーターが開放されておらず大変不便でした。
- メディアセンターでよく傘の盗難が起こります。せめて、はり紙などして注意を提していただけたらと思います。
- 附属図書館内 OSL が暑い（台数の少ない方の部屋）

- 附属図書館の OSL, 室内が暑すぎ, 特に, プリンタの使えない方の部屋, 特に夏はひどい.
- 附属図書館の OSL が暑い.

端末台数, 配置 — 25 件

- 問 11. 非常に
- パソコンの台数が少ない. よく故障している.
- コンピュータの設置数が少なく, 利用できないことが多いです. もっと多くのコンピュータが必要です.
- 台数を増やすべき. レポートの締め切りが迫っている頃には開室時間の変更もするべきだと思う.
- パソコンの量を増やしてほしい.
- OSL の端末数をもっと増やしてほしいです.
- 学期末はレポート作成などで OSL が混み合うので, メディアセンター 2F の部屋も開放してほしい.
- 授業用のコンピューター室をもっとふやしてほしい.
- OSL は混雑しているのに, サテライトはガラガラに空いている ... という状況があると思う.
- 端末が使える場所が, メディアセンターや図書館以外にもあることをアピールすべきでは? もっとサテライトの存在をアピールしたほうがいいのでは.
- 問 12. 南に集中している.
- 1 号館など, 吉田キャンパス内の北の方にも利用できる端末があれば便利だと思う (A 号館は 3 階なので少々遠い)
- 問 12. 入口からとても遠い.
- OSL に入る前に端末の空席状況がわかると便利だと思います.
- 問 12. なぜ, 図書館を通り抜けないといけないのか.
- 入り口に学生証を使って入室するシステムはやめるべき排他的. 学部図書館 (中央も) はなくても入れてくれるし, 学部のパソコンにそもそもそんなものない!! 管理社会, 監視社会, 解体!
- 問 12. パソコンまでが遠い.
- 問 12. 本部キャンパスでは少し不便です.
- 問 12. 学部によっては, キャンパスから離れているため, 行きにくいから.
- 他人の画面を覗き放題等.
- 問 11. あと, 狭い. 字書くのが大変 ..
- LCD 液晶画面になって, レポートがやりやすくなった (スペースが広がって). ありがとうございます.
- OSL についてですが, グループでプレゼンテーションを用意する必要がある時に大変不便です. あまり声を出すわけにもいかず, 一台一台の間隔も十分ではないと思います. グループ利用できる個室がそれに準ずる環境での PC も設置していただくと有難く思います.
- あと, できれば端末ごとに仕切って欲しい. 簡易なものでよいので.
- 人が多くて多くの人が待っている中でゲームをしつづけている学生をなんとかしてほしい.

端末性能 — 26 件

- Web の閲覧がしばしば重くなる. もっとバックボーンを拡充してほしい (もうすでにされているのかも).
- ID やらパスワードやらが独自のシステムで面倒だった気がする. 自宅にあれば, あえて学校で使おうというほどの魅力を感じない. 残念ながら.
- 機器が古く, 少しウィンドウを増やしたただですぐ重くなり, 頻繁にフリーズする (に近い状態になる) ので, 早く新しい PC に交換して欲しい.
- ネットをもっと速くして欲しいが, 授業料を増やす必要があるならしなくえもいいし, して欲しくもない.
- 回線速度が多少遅いかと思います. 仕方ないとは思いますが.
- 端末の性能が悪い.
- パソコンの性能を上げてほしい. OS を XP に.
- 動作が遅すぎる.

- パソコンの画面が平面じゃないので、目が疲れる。ゆがんで見える。
- 管理・運営ごころうさまです。Windows を使用していますがなぜ起動にこれだけ時間がかかるのか？家のパソコンはたぶん OSL と同じ型のやつなのに、やたら時間がかかっているように思う。
- HITACHI にかたよりすぎ、最新の PC に変えるべき。OS も WindowsXP にすべき。
- OS の起動、VMWare の設定の時間が長すぎるので改善してほしい。マウスが時折マウスボールの回りが悪くなって使いづらさを感じる。
- コンピュータ。速度に不満は感じていません。立ち上がりの遅さが気になりますが。故障しているのが一台、農学部 C226 にあるはず。早く直してもらえませんか。
- ログインしてから立ち上がるまで時間がかかり過ぎ、多少いらつく。
- 処理が遅くて不便。
- 処理が遅くてちょっと不便です。
- VMWare の仕組みはよく知らないけど、端末から Windows でログインした時、裏で Linux も起動するのは何とかならないものか。おかげでログイン後の処理が重すぎる。
- 個人で保存できる容量を上げてほしいすら。
- あと回線の速度が遅いです。
- OSL の端末の PC では、ローカルサーバとしての機能は使えないのでしょうか？(AnHTTPD というソフトウェアは拒絶されました。)
- あとマウス・キーボードの清掃道具がほしいと思うことも。
- 個人のメモリ容量制限を、少しゆるくするべき。
- セキュリティについて、中途半端に気を使いすぎて、利便性を損ねているだけであるように思われる。Port Forwarding しないと外に出られない等、
- 一人辺りの容量を増やして欲しい。
- あと、メディアセンター 3 階の端末が M ドライブにアクセスできるようにして欲しい。授業で使いたいファイルを今はメールに添付して自分宛てに送信して対処しているが、不便であるし、ネットワークに余計な負荷をかけてしまうので。
- あと起動時間と IE のたちあげ時間を短縮してほしい。VMWare も常にうごかずとなるとちょっと重くなるような ...

ソフトウェア — 8 件

- それから、Linux に Netscape 4.7x が入っていますが、Mozilla が英語で使いづらいという人のために Netscape 6.x/7.x を標準として採用してはどうでしょうか（* 専門の実験室 (RedHat Linux) には、Netscape 6.x が入っています。）
- FTP をつかえないのは不便。使用できるようにしてほしい（ドメイン制限ありでもいいから）
- Opera の最新版をフリーの形ででもいいから常に最新のものにして欲しい。
- FFFTP をいれていただきたい。大学でサークルの HP の更新ができれば良い。使いなれている FTP 転送ソフトで、フリーなのでぜひお願いします。
- 導入するソフトウェアをもっとふやしてほしい。画像処理や他のエディタや Ghostscript や DTP ソフトなど。個人的には一太郎と ATOK もいれてほしい。
- OSL でも Fortran を使えるようにしてほしい。
- CAD のソフトとか、専門科目で必要なものも少しは揃えて頂きたいです。
- もっとソフトを増やしてほしいです。

記録メディア利用 — 12 件

- CD-RW が使えるようにして欲しい（できれば DVD+RW も）
- CD-R が使えないので不便。
- 問 10.CD-R,RW ドライブくらいは付けてほしい。

- MOドライブよりCD-R/RWドライブをつけて欲しい。
- CD-ROMによるデータ移し替えができないので、できるようにするべき。
- CD等を使えるようにしていただきたいです。
- 外部接続機器（CD-TRWとかも）で、生協に置いてあるものが見えるか使えないかが分かりません。CD-RWを買ってデータを持ち返ろうとしたら書き込めないことが判明して損しました。
- だからCD-Rを使えるようにして。
- CD-R,CD-RWへの書き込みに使えるようにしてほしい。
- 全台MO/フラッシュメモリアダプタがつくと有難い。予算上それはさすがに無理だろうが、附属図書館の端末に何台かでもついていると助かる。
- CR-R, RW, DVD+RWなどへの書き込みも可能にしてほしい。
- 記憶メディアの対応が少なすぎる。CF, FM, SMなど他のものも対応させるのは当然でしょう。

Macの導入 — 3件

- 学術情報メディアセンター南館にMacを入れて欲しい。
- Macがあると楽しい。
- Macもおいてください。

メンテナンス — 8件

- 附属図書館のプリンタは、一旦不具合が起きると不便である。
- あとプリンタの故障が多いです。
- プリンタが用紙切れになって困ることがよくあるので、プリンタの近くに補充用の用紙とトラブル時の解決方法を書いた冊子が置かれるとよいと思う。
- コピー機の紙がきれたとき、自分で用紙を工学部の受付に取りに行くのは面倒すぎる。だれもやってない。
- つぶれてるパソコンは早く直してほしい。
- そして印刷機のまわりにプリンタが大量に放置された状態は改善できないものではないでしょうか。
- 総人図書館上のOSLの2.3のパソコンが調子が悪いものがあります（ログインできない）点検などお願いします。
- 電源が入っていても、フリーズしたり、ログインの途中で止まったりして使えないパソコン時々あるので、きちんと管理して、すべてコンピュータを滞りなく使えるようにしておいてほしい。

プリンタ関連 — 20件

- あと、OSLのプリンタ用紙のサイズにB5を入れておいてください。
- 問9. 私にとって、むしろ多い。
- 問9. 制限は無くしてほしい。
- プリンタに出力するのにすごく待たされることがあるので、プリンタの設置台数を増やしてほしいです。
- カラーコピー機を置いて欲しい。
- プリントアウトしても半分くらいしか印刷されない。プリンタの数を増やしてほしい。
- プリンタのトラブルがたまにあるので困る時があります。
- コピー機に人がいっぱい並んでいて困るときがある。というよりコピー機を増やしてほしい。
- テスト前になると印刷機で印刷しようとしてもなかなか印刷できない。印刷機を増やしてほしい。
- プリンタの設定が各OSL、サテライトごとにまちまちで煩わしいので、統一してほしい。
- 印刷のデフォルトの設定がいつも両面刷りであるのでうっとおしい。失敗して余計な紙をつかうことになる。
- カラープリンタを導入してほしい。
- プリンタのトラブルが多いので何とかしてほしい。もう少し台数を増やしてほしい。あと、サテライトなどにはあらかじめトナーを備えておいてほしい。

- 図書館にもプリンタを設置してほしい。
- OSL でカラー印刷，用紙の持込み印刷ができないものか。
- 附属図書館の印刷が両面印刷であるのは見づらいのでやめてほしい。
- 問9. むしろ 1000 枚まではタダだという考えが無駄使いを招いていると思う。
- プリンタの枚数制限システムが不十分なので，改善してほしい。
- 総人図書館上の OSL のプリンターも両面印刷可能にしてほしい。
- A4 以外の紙も使いたい。PC，プリンタ共に，台数をふやしてほしい。

イントラネットへの学外アクセス — 7 件

- 休講情報等が学校のパソコンでしか見ることができないのは，はっきり言って意味ない。学外からのパソコンから見ることができるようにして欲しい。
- 休講情報の学外閲覧ができると助かるのですが。
- 学内掲示板（休講情報や変更情報など）を外部からも見られるようにしてほしい。
- 休講情報・教室変更情報が端末ですぐ見えるようなシステムがあると助かります。
- 休講情報を家からでも閲覧できるようにしてほしい。
- 外部からのアクセスについての制限を緩和してほしい（学内のみのページをわざわざ OSL に行って閲覧するのは手間がかかる為）
- 学内専用のページを家からでも見れるようにできないでしょうか。

ネットワーク，メール — 11 件

- パソコン持ち込みで利用できる LAN Space を増やしてほしい。
- 情報コンセントサービスの接続設定を行ってもインターネットにつながらなかった。
- 情報コンセントをもっとふやしてほしい。
- 無線 LAN を導入してほしい。
- 問2. ダイアルアップ接続，SSH... とは何か？
- 附属図書館の情報コンセントから，プリンタが使えるようにしてほしい。
- ダイアルアップ接続をつかいたやすいようにしてほしい。LAN ケーブルがもうあるなど。
- ホームページ設立のため，URL 提供をしてほしい。
- メールシステムを携帯対応にしてほしい。
- クラス間の情報交流を図るためのメーリングリストの設置，
- 各種届出の電子化（全学共通科目や各部局に対するもの），学内限定のメールアドレス帳（オリジナルのアドレスは隠しておき，学内でしかやりとりはできないダミーアドレスを公表する。）

窓口，TA 対応 — 6 件

- TA は，あまり居る意味がないです。
- 窓口の人が愛想がない。
- TA が感じ悪すぎ。
- 問14. わからんって，言われた。
- 事務の対応が悪いと思います。
- 仕事しろ !!

その他 — 16 件

- 制限が多すぎる .
- 問 4. その他は「寮」
- 問 2. 取得しわすれ .
- 頑張ってください . 僕は文学部ですが , 京大生って意外と PC 使えない人が多い気がします . 必要ないのかも ! 「計算機」という名称が仰々しくて分かりにくいです . 横文字 , 外来語を避けたいのか知りませんが , 一般にも十分に普及している「コンピュータ」という名称を使ってもよいではありませんか ?
- 問 4. Yahoo com
- 10.4, 10.5 どちらかです . 「大容量記憶デバイス (easy disk)」とありますが , どちらのことなのかわかりません .
- 5. 句点がなくて読みづらい .
- 大学でパソコン講座
- 家に電話回線を引くと金もかかるし , ネットゲームに熱中して引きこもりそうなので , 大学のコンピュータでメールとか Web を見たりしてます . これからもよろしくお願いします .
- 問 13. なくても生きていけるけど
- HP に , 学生用の使い方ガイド (わかりやすいもの) を作ってほしい . 現在は研究用の情報しかのっていないようなので .
- コンピュータはやはり DOS から勉強するのがいいと思う . GUI が発達してくると , 深く考えずにパソコンが使えるてしまう . 使うだけならそれでいいが , 勉強するという観点で言えば ...
- 頑張ってください .
- 問 13.
- 問 8. 家で . OSL ではブラウザだけ .
- このようなアンケートはとてもよいので , 一般の OSL からでもできるようにしてほしいと思う .

一般情報教育に関するアンケート

1・2回生の皆様へ

全学共通教育システム委員会
情報教育専門委員会
学術情報メディアセンター

一般情報教育に関するアンケート調査協力をお願い

この調査は、本学の情報教育および関連設備を今後より一層充実したものにしていくため、1・2回生の皆さんから率直な意見を伺うものです。本アンケートは、2部構成となっていますので、第1部、第2部ともにお答え下さい。

第1部は、本学の情報教育に対する評価とご要望、皆さんの計算機の利用経験等をお伺いして、今後の情報教育カリキュラム改善の参考とするためのアンケートです。また第2部は、学術情報メディアセンターの教育用計算機システムの利用状況やシステムに対するご要望を把握し、システムのより効果的な運用の参考とするためのアンケートです。

アンケートは無記名で、回答は統計的に処理され、他の目的に流用されることはありません。本学の情報教育改善のため、是非ご協力をお願い致します。

なお、アンケート用紙は、2月5日(木)までに、共通教育棟1階の専用ポスト(レポートボックス)、あるいは、学術情報メディアセンター南館1Fに設置されている専用ポストに入れて下さい。

一般情報教育に関するアンケート(第1部)

情報教育，コンピュータの利用経験等について下記の質問にご回答ください．

1 所属などについておたずねします

問1 所属学部を教えてください．あてはまる番号に をつけて下さい．

1. 総合人間学部
2. 文学部
3. 教育学部
4. 法学部
5. 経済学部
6. 理学部
7. 医学部
8. 薬学部
9. 工学部
10. 農学部

問2 何年度に入学したか教えてください．あてはまる番号に をつけて下さい．

1. 2003年度
2. 2002年度
3. 2001年度
4. 2000年度
5. 1999年度以前

問3 性別を教えてください．あてはまる番号に をつけて下さい．

1. 男性
2. 女性

2 現在の情報教育についておたずねします

これまでに受講したあるいは現在受講している一般情報処理の講義・演習科目について、おたずねします。

問4 受講した科目は次のどれですか。あてはまる番号に をつけて下さい。(複数回答可)
1科目以上受講した科目がある方は問5へ、そうでない方は問8へ進んで下さい。

1. これまでに情報関連の科目は受講していない
2. 基礎情報処理
3. 基礎情報処理 I(文学部)
4. 情報科学 A
5. 情報科学 B
6. 基礎情報処理演習
7. 情報科学実習
8. 情報学 I(教育学部)
9. 情報学 II(教育学部)
10. 情報処理入門(経済学部)
11. 情報処理論 A(経済学部)
12. 情報処理論 B(経済学部)
13. その他 ()

問5 講義についておたずねします。問4で をつけた科目のうち、おもに講義が行われた科目があれば、それらのうち主たる一つについて、以下の各項目を、それぞれ5段階で評価して、あてはまる番号に をつけて下さい。なお、該当する科目がなければ、「該当なし」にチェック(√)を入れて下さい。

該当なし

- | | | | | | | | | |
|----|-----------|---------|---|---|---|---|---|-------|
| a. | あなたの参加態度 | 消極的 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 積極的 |
| b. | 講義の目的 | 不明確 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 明確 |
| c. | 講義の難易度 | やさしかった | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 難しかった |
| d. | 講義の内容 | つまらなかった | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 面白かった |
| e. | 講義の必要性 | 不要 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 必要 |
| f. | 内容は適切だったか | 不適切 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 適切 |
| g. | 説明は適切だったか | 不適切 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 適切 |
| h. | 講義の設備・環境 | 不満 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 満足 |
| i. | 全体的評価 | 不満 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 満足 |

問6 演習についておたずねします。問4で をつけた科目のうち、演習が行われた科目があれば、それらのうち主たる一つについて、以下の各項目を、それぞれ5段階で評価して、あてはまる番号に をつけて下さい。なお、該当する科目がなければ、「該当なし」にチェック(√)を入れて下さい。

該当なし

- | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|
| a. | あなたの参加態度 | 消極的 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 積極的 |
| b. | 演習の目的 | 不明確 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 明確 |
| c. | 演習の難易度 | やさしかった | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 難しかった |
| d. | 演習の内容 | つまらなかった | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 面白かった |
| e. | 演習の必要性 | 不要 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 必要 |
| f. | 内容は適切だったか | 不適切 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 適切 |
| g. | 説明は適切だったか | 不適切 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 適切 |
| h. | 演習時間 | 不十分 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 十分 |
| i. | 演習時間中の指導 | 不十分 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 十分 |
| j. | 演習時間外の作業量 | 少なかった | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 多かった |
| k. | 演習の設備・環境 | 不満 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 満足 |
| l. | 全体的評価 | 不満 | 1 | ・ | 2 | ・ | 3 | ・ | 4 | ・ | 5 | 満足 |

問7 これまでに受講した情報関連の講義・演習で、興味をもった、あるいは役に立った内容・課題等があれば、その内容を簡単に記述して下さい。

()

問8 情報関連の授業で取りあげてほしい内容、あるいは大学で取得したい情報関連の資格、また授業形態、設備・環境への注文など、講義・演習に関係する意見を自由に記述して下さい。

()

3 コンピュータの利用状況，利用経験等についておたずねします

問9 情報関連の授業以外で，コンピュータを主にどんな目的で利用していますか．あてはまる番号に をつけて下さい．(複数回答可)

1. 利用しない
2. メール
3. WWW ページ (いわゆるホームページ) の閲覧
4. 情報検索 (図書館，検索サイト)
5. WWW ページ (いわゆるホームページ) の作成
6. CALL
7. 自習
8. 授業の予習・復習
9. レポート作成
10. レポート発表
11. データ集計
12. プログラミング
13. ゲーム
14. 映像の鑑賞，編集等
15. その他 ()

問10 情報関連の授業時間以外で1日平均何時間ぐらいコンピュータを利用していますか．もっともよくあてはまる番号に をつけて下さい．

1. 利用しない
2. 1時間未満
3. 2時間未満
4. 3時間未満
5. 4時間未満
6. 5時間未満
7. 6時間未満
8. 6時間以上

問11 問10の利用時間のうち，大学では，何時間ぐらいコンピュータを利用していますか．もっともよくあてはまる番号に をつけて下さい．

1. 利用しない
2. 1時間未満
3. 2時間未満
4. 3時間未満
5. 4時間未満
6. 5時間未満
7. 6時間未満
8. 6時間以上

問12 大学以外でコンピュータを利用していますか．あてはまる番号に をつけて下さい．
「はい」と答えた方は問13へ、「いいえ」と答えた方は問21へ進んで下さい．

1. はい(自分専用)
2. はい(共用)
3. いいえ

問13 問12で「はい」と答えた方におたずねします．大学の設備以外で利用しているコンピュータを挙げて下さい．パソコンの場合は，利用しているOSに合わせて選んで下さい．あてはまる番号に をつけて下さい．(複数回答可)

1. パソコン (Windows)
2. パソコン (Macintosh)
3. パソコン (Linux,Unix)
4. その他のパソコン (OS:)
5. パソコン以外 (具体的に:)

問 14 問 12 で「はい」と答えた方におたずねします。ふだんコンピュータを利用している場所は大学以外には主にどこですか。あてはまる番号に をつけて下さい。

1. 自宅(自室)
2. 友人宅
3. 寮(共用)
4. 店舗
5. 持ち歩いてあちこちで使う
6. その他 ()

問 15 問 14 で挙げた場所でインターネットを利用していますか。あてはまる番号に をつけて下さい。

1. はい(ブロードバンド接続)
2. はい(ISDN 接続, アナログモデム接続)
3. いいえ

問 16 個人で所有している機器でインターネットを利用していますか。あてはまる番号に をつけて下さい。

「はい」と答えた方は問 17 へ、「いいえ」と答えた方は問 21 へ進んで下さい。

1. はい
2. いいえ

問 17 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルスのことを知っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。

「はい」と答えた方は問 18 へ、「いいえ」と答えた方は問 20 へ進んで下さい。

1. はい
2. いいえ

問 18 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルスに感染した経験はありますか。あてはまる番号に をつけて下さい。

1. ある
2. ない
3. 分からない

4. その他 ()

問 19 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。コンピュータウイルス対策を行っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。

1. 自分で対策は行っていない

2. アンチウイルスソフトウェア(ノートンアンチウイルス, ウイルスバスター等)は利用しているが, ソフトウェアは最新の状態に更新していない

3. アンチウイルスソフトウェア(ノートンアンチウイルス, ウイルスバスター等)を利用し, さらにソフトウェアを最新の状態に更新するようにしている

4. 分からない

5. その他 ()

問 20 個人で所有している機器でインターネットを利用している方におたずねします。ソフトウェアの欠陥の修正(たとえば、WindowsUpdate など)を行っていますか。あてはまる番号に をつけて下さい。また行っている場合は、できれば、どのように情報を得ているかをお答え下さい。

1. 修正は行っていない
2. たまに行っている(不定期)
3. 定期的に行っている
4. 欠陥が公表され次第行っている
5. 分からない
6. その他 ()

(情報源)

問 21 高校で情報・コンピュータ関係の授業を受けましたか。あてはまる番号に をつけて下さい。また受けた場合には、それらのうちの主たる一つについて、科目名と主な内容をお答え下さい。

1. はい
2. いいえ

(科目名と主な内容)

問 22 高校でコンピュータを利用できましたか。あてはまる番号に をつけて下さい。「はい」と答えた方は問 23 へ、「いいえ」と答えた方は問 24 へ進んで下さい。

1. はい(完全に自由)
2. はい(制限あり、授業利用のみ等)
3. いいえ

問 23 問 22 で「はい」と答えた方におたずねします。高校でインターネットを利用できましたか。あてはまる番号に をつけて下さい。

1. はい(完全に自由)
2. はい(制限あり、授業利用のみ等)
3. いいえ

問 24 本学では、現在、情報セキュリティ・情報倫理教育を全学的に実施する準備を進めています。情報セキュリティ(盗聴、侵入、ウイルスの問題等)、情報倫理(著作権、複製権、プライバシーの問題等)に関して何かご意見があれば、自由に記述して下さい。

()

4 情報関連の技能・知識についておたずねします

問 25 以下の技能・ソフトウェアの利用法の修得状況等について，次の1～6のうち，いずれか当てはまるものにチェック(√)を入れて下さい．なお，ここで「修得している」とは，単に学習したというレベルではなく，身につけている，あるいは自分で不自由なく使えるといったレベルを意味しています．

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 大学入学以前に修得した | 2. 大学入学後に大学の授業で修得した |
| 3. 大学入学後に自主的に修得した | 4. これから修得してみたい |
| 5. 興味がない | 6. 知らない |

	1	2	3	4	5	6
a. タッチタイプ(キーボードを見ないで文字を入力する技能)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b. ユーザID，パスワードの扱い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c. ログイン，ログアウト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d. シャットダウン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e. ファイルとフォルダの扱い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f. ファイルのバックアップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g. ワードプロソフト (Word 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h. 表計算ソフト (Excel 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i. プレゼンテーションソフト (PowerPoint 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
j. 統計ソフト (SPSS 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
k. テキストエディタ (メモ帳等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
l. テキストファイルの扱い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
m. プログラミング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
n. 圧縮/展開ソフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
o. WWW ブラウザ (Internet Explorer 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
p. WWW(Yahoo 等の検索サイト) での情報検索	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
q. WWW ページ (いわゆるホームページ) の作成と公開	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
r. メールの送受信	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1	2	3	4	5	6

問 26 プログラミングを行ったことがある方におたずねします．使用したプログラミング言語のうち主なものを挙げて下さい．(複数回答可)

()

問 27 以下の項目の学習状況等について，次の1～6のうち，いずれか当てはまるものにチェック(√)を入れて下さい．

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 大学入学以前に学んだ(から知っていた) | 2. 大学入学後に大学の授業で学んだ |
| 3. 大学入学後に自主学習した | 4. これから学んでみたい(知りたい) |
| 5. 興味がない | 6. 知らない |

セキュリティ，倫理について	1	2	3	4	5	6
a. インターネットにおける情報漏洩の危険性 (メールの内容等が第三者に覗かれる危険性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b. 暗号，電子署名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c. セキュリティホール，ウイルス，ワーム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d. スパムの問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e. チェインメールの問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f. 著作権，肖像権の重要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g. プライバシー，個人情報の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報科学について	1	2	3	4	5	6
h. コンピュータの動作原理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i. プログラミング言語，言語処理系	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
j. 計算理論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
k. アルゴリズムとデータ構造	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
l. コンピュータグラフィクス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
m. データベース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
n. OS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
o. インターネットの仕組み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1	2	3	4	5	6

問 28 その他，これから学びたいこと，興味があること等があれば，自由に記述して下さい

ご協力ありがとうございました．第1部はこれで終了です．
引き続き，第2部への回答をお願い致します．

一般情報教育に関するアンケート(第2部)

学術情報メディアセンターの教育用計算機システムについて、下記の質問にご回答ください。

以下の各質問で、「OSL」とはメディアセンター南館などに設置されているオープンスペースラボラトリのことです。また、「サテライト」とは各学部設置されている教育用計算機システムの端末を有する演習室のことです。

1 集計の都合上、もう一度所属をおたずねします

問1 所属学部を教えてください。

総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部
理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部

2 ご利用の教育用計算機システムのサービスについて

問2 当センター教育用計算機システムの利用者としてどのようなサービスを利用されていますか。ご利用のサービスすべてにチェックしてください。

電子メール OS�/サテライトの端末
ダイヤルアップ接続サービス 情報コンセントサービス(附属図書館内に設置)
SSH ポートフォワーディングサービス その他
利用コードは取得しているが、最近では利用していない。

3 問2で電子メールサービスをご利用と答えた方にお尋ねします

問3 当システムの電子メールアドレスのご利用状況について、該当するもの1つにチェックしてください。

電子メールとして当システムのアドレスのみを使用している
他のアドレスと併用している、主として当システムのアドレスを利用している
他のアドレスと併用している、用途によって使い分けている
他のアドレスと併用している、当システムのアドレスはあまり使わない
その他(具体的に _____)

問4 当システムの電子メールの読み書きを行っている場所と方法について該当するものすべてにチェックして下さい。

メールを読み書きしている場所： OS� やサテライト 自宅 その他
メールの読み書きの方法： Active! Mail その他のメールソフト

4 問2でOS�やサテライトをご利用と答えた方にお尋ねします

問5 ご利用の箇所について該当するものにチェックして下さい。

学術情報メディアセンター南館 OS� 総合人間学部図書館 OS�
附属図書館 OS� サテライト(設置学部： _____)

問6 利用されている OS をチェックして下さい。(複数回答可)

Windows Linux

問7 ご利用の目的で該当するものにチェックして下さい。(複数回答可)

WWW などでの情報検索 電子メール データ処理 プログラミング
レポート,論文,プレゼンテーション作成 その他(具体的に_____)

問8 よくご利用になっているソフトウェアすべてにチェックして下さい。

Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft PowerPoint Microsoft Access
Web ブラウザ SPSS Maple TEX/L^AT_EX
テキストエディタ(具体的に_____)
プログラミング言語の処理系(具体的に_____)
その他(具体的に_____)

問9 プリンタの利用を年間 1000 枚を上限としています。この制限についてご意見をお聞かせください。

特に問題は感じない。 不足するが、超過分について有償ならば使わない。
不足する。超過分についても実費負担で利用したい。

問10 利用されている外部記憶メディアについてお教えてください。

特に利用しない フロッピーディスク MO ディスク
USB 接続のフラッシュメモリ USB 接続のその他のメディア

問11 OSL の端末数について

特に不足は感じない
OSL に来ても空いていないときがたまにあり、やや不足を感じる
OSL に来ても空いていないときがしばしばあり、不足を感じる

問12 OSL の設置場所について

現在、OSL をメディアセンター南館、総合人間学部図書館および附属図書館内に設置していますが
適当だと思う、 利用上やや不便、 利用上かなり不便(理由 _____)

問13 OSL の開室時間について

適当だと思う 開室時刻を早くしてほしい 閉室時刻を遅くほしい
土曜、日曜にも開けてほしい

問14 窓口での当センターの職員や TA の対応について

丁寧に対応してもらっている 対応は普通である
対応は不十分である あまり利用しないのでなんとも言えない。

5 ご意見，ご要望など

当センター教育用計算機システムのサービスへの要望又は意見があればお聞かせください。

なお，このアンケートは無記名ですので，質問事項などはご記入頂いてもご返事を差し上げることができません。ご質問などは本センターまで直接ご連絡下さい。

以上でアンケートは全て終了です。ご協力ありがとうございました。

情報教育専門委員会名簿

平成 16 年 12 月 1 日現在

区分	職 名	氏 名	備 考
	委員長	田中 克己	情報学研究科・教授
1号	センター・教授	小山田 耕二	
	センター・助教授	日置 尋久	
3号	総合人間学部・助教授	立木 秀樹	
	文学部・教授	永井 和	
	教育学部・助教授	楠見 孝	
	法学部・教授	川濱 昇	
	経済学部・助教授	中島 康彦	
	理学部・助教授	西村 進	
	医学部・教授	清水 章	
	薬学部・教授	金子 周司	
	工学部・教授	島崎 眞昭	
	農学部・教授	安達 修二	
4号	情報学研究科・教授	奥乃 博	
	学術情報センター・教授	喜多 一	

以上 15名

備考欄の 印は、アンケートワーキンググループメンバー



一般情報教育に関するアンケート

平成 17 年 1 月発行

編 集 京都大学高等教育研究開発推進機構
全学共通教育システム委員会 情報教育専門委員会
学術情報メディアセンター

発 行 京都大学共通教育推進部共通教育推進室
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 Tel 075-753-6690
